Canon

CDI-J326

PowerShot SX100 IS
カメラユーザーガイド

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください（p.171 ～ 180）。

操作の流れと参照するガイド

以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

:本書

さっそく カメラを使ってみよう！(p. 7)

電池やカードの入れかた、日付や時刻の設定のしかたから、撮影、再生、消去のほか、かんたんな印刷のしかたなどを説明しています。

もっと カメラを使ってみよう！(p. 37)

各部名称のほか、撮影や再生のより詳しい操作方法について説明しています。カメラをより使いこなしていただくための情報を記載しています。

他の機器と接続する

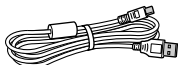
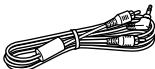
・プリンターと接続する
・テレビと接続する
・パソコンと接続する

ダイレクトプリント
ユーザーガイド

ソフトウェア
クイックガイド

付属品の確認

パッケージには以下のものが入っています。万一、不足のものがありましたら、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。

1. カメラ本体
2. 単3形アルカリ電池（2本）
3. メモリーカード（16MB）
4. インターフェースケーブル IFC-400PCU
5. AVケーブル AVC-DC300
6. リストストラップ WS-200
7. Canon Digital Camera Solution Disk
8. 保証書
9. 取扱説明書一式
   - カメラユーザーガイド
   - ダイレクトプリントユーザーガイド
   - ソフトウェアクイックガイド
   - サポートガイド

付属のメモリーカードでは、このカメラの性能を十分に発揮できない場合があります。

このカメラでは、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、マルチメディアカード、MMCplusカードとHC MMCplusカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをカードと表記します。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

付録 171

索引 200

☆各撮影モードで設定できる機能一覧 206

■ 本文中のマークについて

❗	：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。
📝	：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

本書では、お買い上げ時の設定状態で説明しています。

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

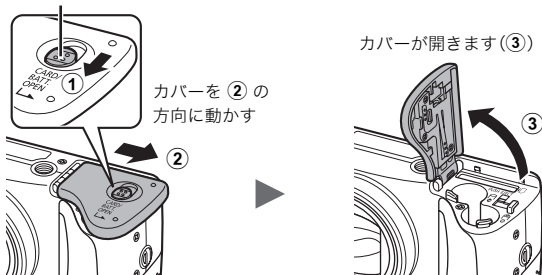
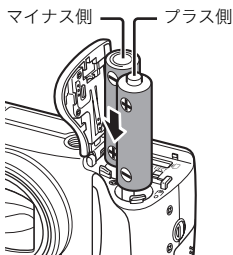
液晶モニターは､非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

さっそく
カメラを使ってみよう!

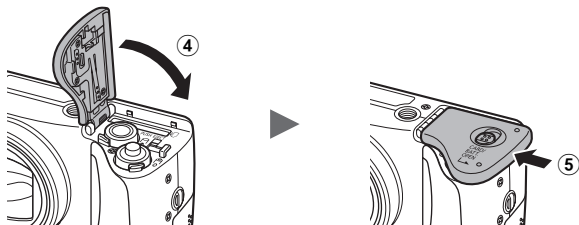
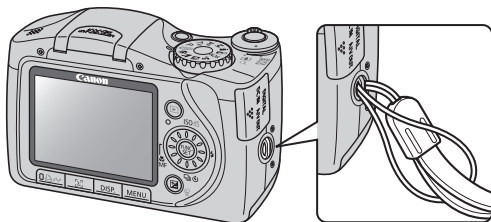
- ●準備する
- ●静止画を撮る
- ●静止画を見る
- ●動画を撮る
- ●動画を見る
- ●消去する
- ●印刷する
- ●パソコンに取り込む
- ●システムマップ

準備する

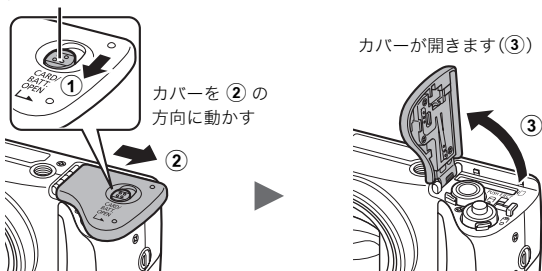
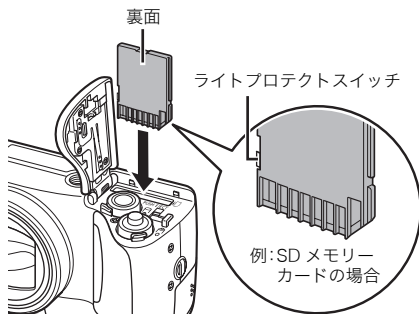
電池を入れる

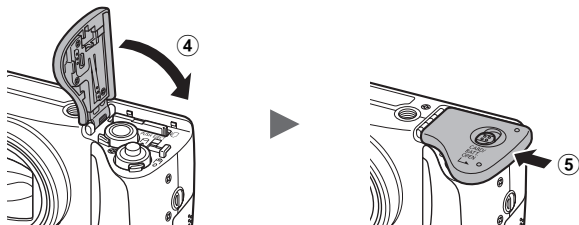
1. 開放スイッチを ① の方向にスライドしたまま、カバー全体を押さえながら、② の方向に動かして、カバーを開く（③）

2. 電池を 2 本入れる

付属の単3形アルカリ電池を 2 本入れます。

3. **カバーを閉じ(④)、押さえながら「カチッ」と音がするまでスライドする(⑤)**

■ リストストラップの取り付けかた

カメラをお使いになるときは、落下防止のため、リストストラップの装着をおすすめします。

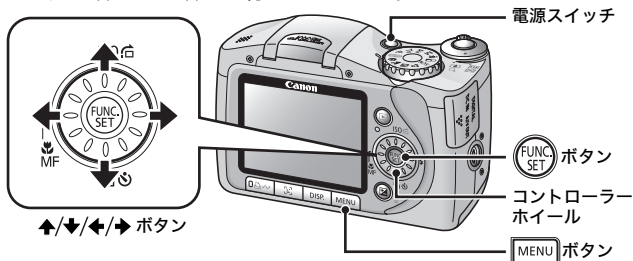
カードを入れる

1. 開放スイッチを ① の方向にスライドしたまま、カバー全体を押さえながら、② の方向に動かして、カバーを開く(③)

2. カードを「カチッ」と音がするまで差し込む

- SDメモリーカードの場合は、ライトプロテクトスイッチがロックされていないことを確認してください。
- カードの向きを確認してください。

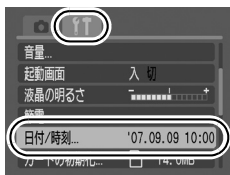
3. カバーを閉じ（④）、押さえながら「カチッ」と音がするまでスライドする（⑤）

■ カードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指でカードを奥に押し込んで、放します。

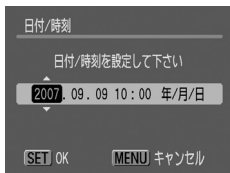
日付と時刻を設定する

はじめて電源を入れたときは、日付 / 時刻の設定画面が表示されますので、手順 3 と手順 4 を行ってください。

1. 電源スイッチを押す

2. [日付 / 時刻]を選ぶ

1. MENU ボタンを押す
2. ◀/▶ ボタンで[(設定)] メニューを選ぶ
3. ▲/▼ ボタンで[日付 / 時刻]を選ぶ
4. FUNC. SET ボタンを押す

3. 年、月、日、時、分、表示順を選ぶ

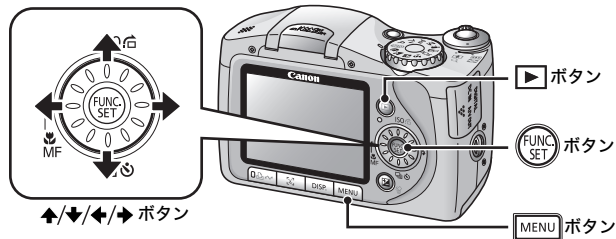
1. ◀/▶ ボタンで項目を選ぶ
2. ▲/▼ ボタンで内容を設定する

・コントローラーホイールを回しても内容を設定できます。

4. FUNC. SET ボタンを押す

5. MENU ボタンを押す

設定した日付や時刻を画像に写し込むことができます（p. 71）。

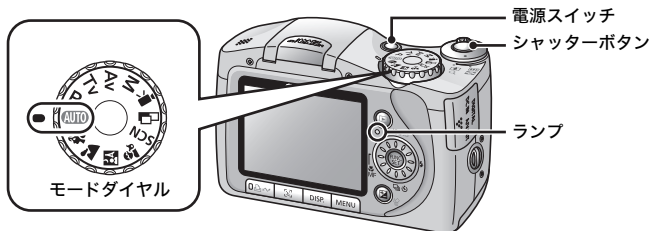
表示言語を切り換える

ご購入時は日本語に設定されていますので、変更の必要はありません。

1. ▶(再生)ボタンを押す

2. FUNC. SET ボタンを押したまま、すぐにMENUボタンを押す

3. ▲/▼ または ◀/▶ ボタンで表示したい言語を選ぶ

4. FUNC. SET ボタンを押す

静止画を撮る(AUTOオートモード)

1. 電源スイッチを押す

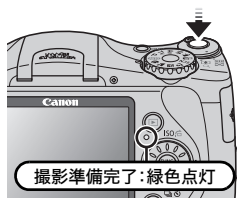
・起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。
・もう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。

2. 撮影モードを選ぶ

1. モードダイヤルを AUTO (オート)に合わせる

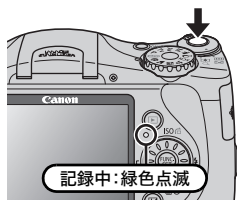
3. 被写体にカメラを向ける

4. シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる

・ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2 回鳴り、ランプが緑色に点灯します(ストロボ発光時は橙色に点灯)。

AF フレーム

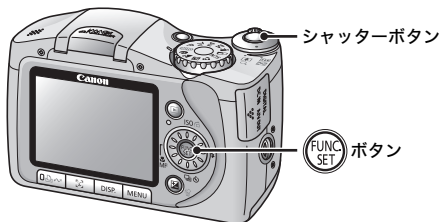
・が赤色で点滅表示されたら、ストロボ撮影(p. 64)をおすすめします(AUTO では、「ストロボを上げてください」のメッセージも表示されます)。
・ピントが合った位置に、AF フレームが緑色で表示されます。

5. そのまま、シャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影する

・シャッター音が鳴り、撮影されます。
・ランプが緑色に点滅し、カードに記録されます。

消音の設定について

DISP. ボタンを押しながら電源を入れると、消音設定が[入]になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。設定の変更は、設定メニューの[消音]で行います(p. 48)。

撮影直後に画像を確認する（レックレビュー）

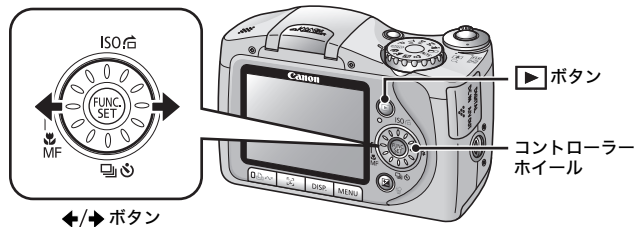
撮影直後に約 2 秒間、液晶モニターに撮影した画像が表示されます。

次の方法で撮影直後の画像を表示し続けることもできます。

- **撮影後、シャッターボタンを押し続ける**
- **撮影した画像が表示されている間に、FUNC. SET ボタンを押す**

・ピッと操作音が鳴ったことを確認してください。
　画像の表示中でも、シャッターボタンを押すと撮影ができます。

画像表示の解除のしかた：シャッターボタンを半押しする

撮影メニューの［撮影の確認］で画像を表示する時間を変更できます（p. 47）。

静止画を見る

1. ▶ (再生)ボタンを押す

最後に撮影した画像が表示されます。

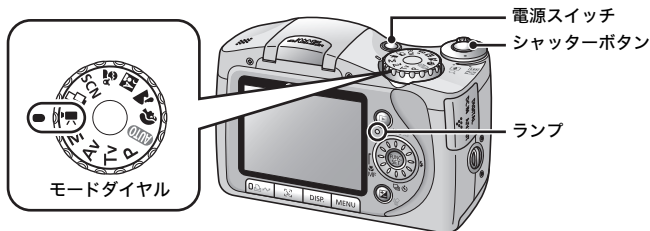
2. ←/→ボタンで見たい画像を表示する

・←ボタンで前の画像、→ボタンで次の画像を表示します。

・ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

・コントローラーホイールでも、画像を選べます。反時計回りに回すと前の画像、時計回りに回すと次の画像を表示します。

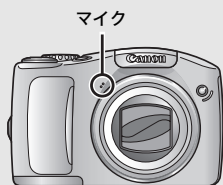
一度再生した場合には、最後に再生した画像が表示されます(再生レジューム)。また、カードを交換したり、パソコンでカード内の画像を編集した場合は、最新画像が表示されます。

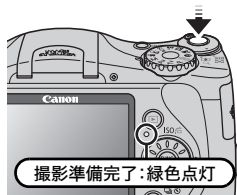
動画を撮る(スタンダードモード)

1. 電源スイッチを押す

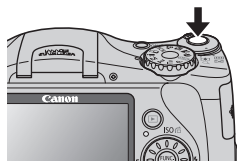
2. 撮影モードを選ぶ

1. モードダイヤルを(動画)に合わせる
2. (スタンダード)に設定されていることを確認します。

3. 被写体にカメラを向ける

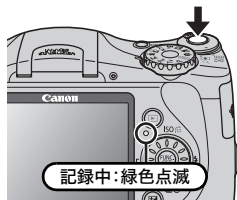
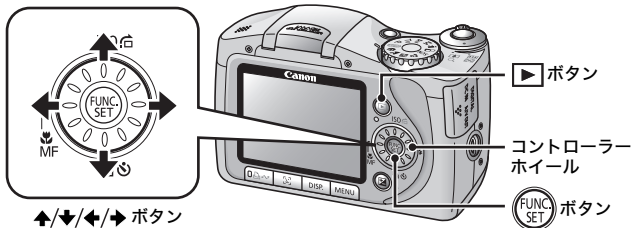
- 撮影中はマイクに触れないでください。
- シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。

4. シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる

・ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプが緑色に点灯します。
・露出、フォーカス、ホワイトバランスが自動設定されます。

5. そのまま、シャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影する

・撮影が開始されます。

・撮影中は、液晶モニターに撮影時間と[●録画]が表示されます。

撮影時間

6. シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

・ランプが緑色に点滅し、カードに記録されます。
・最長記録時間を経過したときや、カメラ内部のメモリーやカード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

動画を見る

1. ▶（再生）ボタンを押す

2. ◀/▶ボタンで動画を表示し、FUNC. SETボタンを押す

・動画には SET 🎥が表示されます。

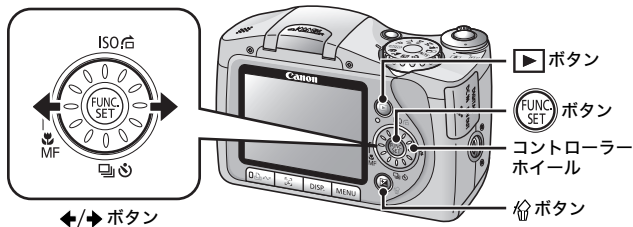
・コントローラーホイールを回しても画像を表示できます。

3. ◀/▶ボタンで▶（再生）を選び、FUNC. SETボタンを押す

・動画が再生されます。

・再生中にFUNC./SETボタンを押すと、再生の一時停止 / 再開ができます。

・▲/▼ ボタンで音量の調節ができます。

消去する

1. ▶(再生)ボタンを押す

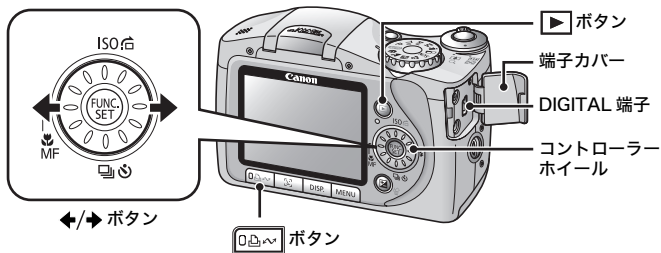
2. ◆/◆ボタンで消去したい画像を選び、ボタンを押す

コントローラーホイールを回しても画像を選べます。

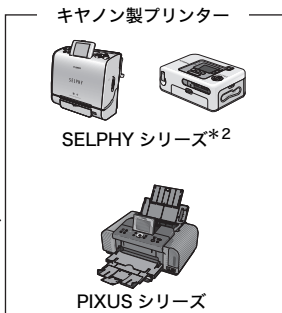
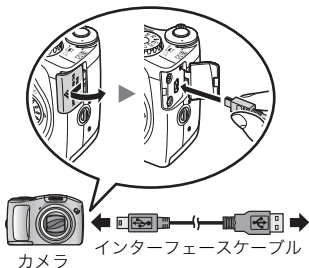
3. [消去]が選択されていることを確認し、FUNC. SETボタンを押す

消去を中止するときは、[キャンセル]を選びます。

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

印刷する

1. カメラとカメラダイレクト対応プリンター*1を接続する

・カメラの端子カバーを左にスライドして開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

・プリンターの接続方法は、プリンターに付属の使用説明書でご確認ください。

*1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでも印刷できます。

*2 CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。

2. プリンターの電源を入れる

3. カメラの▶（再生）ボタンを押し、電源を入れる

- ボタンが青色に点灯します。
- 正しく接続されると、液晶モニターにまたは、が表示されます（プリンターによって表示されるアイコンは異なります）。
- 動画の場合はSETが表示されます。

4. ←/→ ボタンで印刷したい画像を選び、ボタンを押す

- ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。
- コントローラーホイールを回しても画像を選べます。

印刷後は、カメラとプリンターの電源を切り、インターフェースケーブルを取り外します。

カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

パソコンに取り込む

用意するもの

- カメラとパソコン
- カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
- インターフェースケーブル（必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。）

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてください。

■ Windows

OS	Windows Vista Windows XP Service Pack 2 Windows 2000 Service Pack 4
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	Windows Vista ：Pentium 1.3GHz以上 Windows XP / Windows 2000 ：Pentium 500MHz以上
RAM	Windows Vista ：512MB以上 Windows XP / Windows 2000 ：256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX ：200MB以上 ・PhotoStitch ：40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver ：25MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color（16bit）以上

■ Macintosh

OS	Mac OS X（v10.3～v10.4）
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5またはIntel プロセッサー
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser ：300MB以上 ・PhotoStitch ：50MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色以上

画像を取り込む準備をする

必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

1. ソフトウェアをインストールする

■ Windows

1. Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブにセットする
2. [おまかせインストール]をクリックする

   表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。

3. インストールの終了後、[再起動]または[完了]をクリックする

   インストールが終了すると、[再起動]または［完了］が表示されます。表示されたボタンをクリックします。

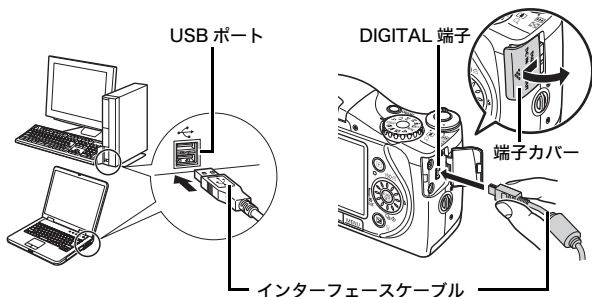
4. 通常のデスクトップの画面が表示されたら、CD-ROM を取り出す

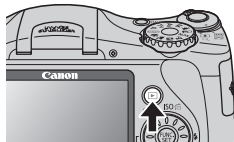
■ Macintosh

CD-ROM 内の をダブルクリックすると、右の画面が表示されます。[インストール］を選択し、表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。

2. カメラとパソコンを接続する

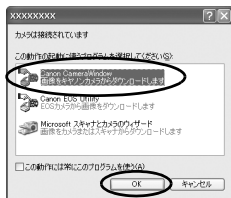
1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子を接続する

カメラの端子カバーを左にスライドして開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

3. カメラとパソコンを通信できる状態にする

1. ▶(再生)ボタンを押し、電源を入れる

カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

[デジタル署名が見つかりませんでした]と表示された場合は、[はい]をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USB ドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

■ Windows

[Canon CameraWindow］を選び、[OK］をクリックする

上記のウィンドウが表示されない場合は、[スタート］メニューから［すべてのプログラム］または［プログラム］▶[Canon Utilities]▶[CameraWindow]▶[CameraWindow]▶[CameraWindow］を選択します。

カメラウィンドウが表示されます。

これで、画像を取り込む準備ができました。
「カメラの操作で画像を取り込む」(p. 29）にお進みください(Windows 2000 を除く)。

Windows 2000 をお使いの場合は、パソコンの操作で画像を取り込みます。取り込み方法については「ソフトウェアクイックガイド」でご確認ください。

■ Macintosh

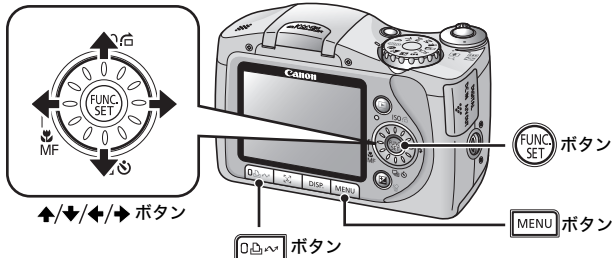
カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のカメラウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。

これで、画像を取り込む準備ができました。
「カメラの操作で画像を取り込む」（p. 29）にお進みください。

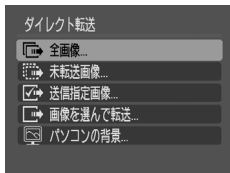
パソコンの操作での取り込み方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)

初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、最初にソフトウェアをインストールしておいてください（p. 25）。

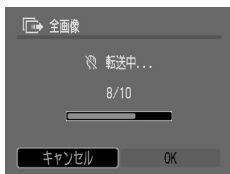
カメラの操作で画像を取り込めます（Windows 2000 を除く）。

	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定した画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

1. カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

- ボタンが青色に点灯します。
- ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENU ボタンを押してください。

ダイレクト転送画面

■ [全画像]、[未転送画像]、[送信指定画像]のとき

2. ▲/▼ ボタンで、、のいずれかを選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
- 取り込みが終了すると、ダイレクト転送画面に戻ります。
- 取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押します。

■ [画像を選んで転送]、[パソコンの背景]のとき

2. ▲/▼ボタンでまたはを選び、ボタンを押す

3. ◀/▶ボタンで取り込みたい画像を選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
- 取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押します。

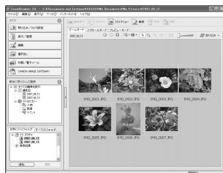
4. 取り込み後、MENU ボタンを押す

ダイレクト転送画面に戻ります。

［パソコンの背景］で指定できるのは、JPEG 画像のみです。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。［画像を選んで転送］と［パソコンの背景］を選択していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。

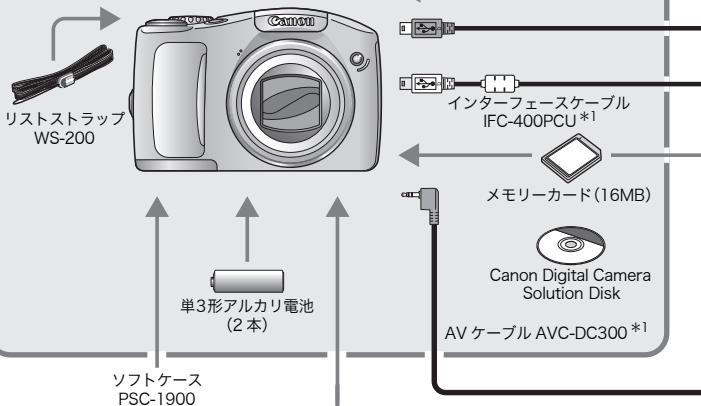
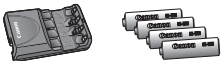
カメラウィンドウの右下に表示される［×］をクリックすると、パソコンの画面に取り込まれた画像が表示されます。

■ Windows

ZoomBrowser EX

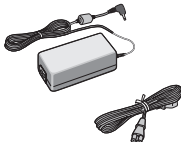
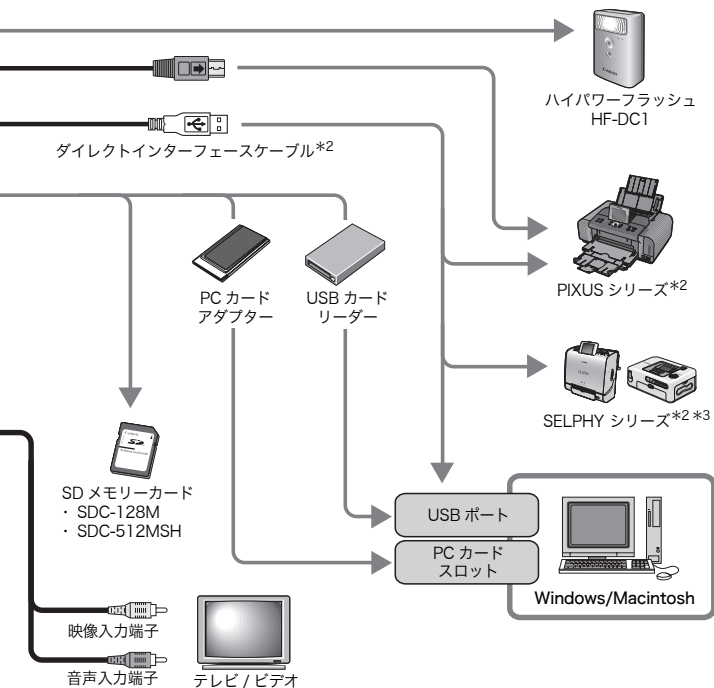
■ Macintosh

ImageBrowser

初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

システムマップ

バッテリー/ チャージャーキット CBK4-300 *4

■ バッテリーチャージャーCB-5AH
■ 単3形ニッケル水素電池（NB-3AH 4 本入り）

・ 単3形ニッケル水素電池 4 本セット(NB4-300)の別売りも用意されています。
・ このカメラで使用する電池は 2 本です。

AC アダプターキット ACK800

■ コンパクトパワーアダプターCA-PS800
■ 電源コード

*1 別売りも用意されています。
*2 PIXUS シリーズ /SELPHY DS シリーズのプリンターに接続するケーブルや、プリンターに関することは、プリンターに付属の使用説明書をご覧ください。
*3 CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。
*4 バッテリーチャージャーキット CBK4-200 もお使いになれます。

アクセサリー(別売)

必要に応じてお買い求めのうえ、ご利用ください。
(アクセサリーは、諸事情により販売を終了することがあります。)

■ ストロボ

- **ハイパワーフラッシュ HF-DC1**
  被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに、カメラに取り付けて使用する補助ストロボです。

■ 電源

- **AC アダプターキット ACK800**
  家庭用コンセントから電源を供給するためのキットです。カメラを長時間連続して使うときや、パソコンと接続するときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします。
- **バッテリー / チャージャーキット CBK4-300**
  充電式の単 3 形ニッケル水素電池（4 本）と専用の充電器のセットです。多くの画像を撮影したり、長時間再生するときにお使いになると便利です。
- **ニッケル水素電池 NB4-300**
  単 3 形ニッケル水素電池 4 本のセットです。
  (このカメラで使用する電池は 2 本です。)

■ その他

- **SD メモリーカード**
  撮影した画像を記録するためのカードです。キヤノン製では128MB、512MB の容量のカードがあります。
- **インターフェースケーブル IFC-400PCU**
  カメラとパソコン、またはカメラとコンパクトフォトプリンター（SELPHY シリーズ）や PIXUS シリーズ*のプリンターを接続するケーブルです。
  *プリンターの使用説明書でご確認ください。
- **AV ケーブル AVC-DC300**
  カメラとテレビやビデオを接続するケーブルです。
- **ソフトケース PSC-1900**
  カメラをキズやホコリから守ります。

カメラダイレクト対応プリンター

以下のプリンターが用意されています。カメラとプリンターをケーブルで直接つないで、カメラのボタン操作だけで撮影した画像を印刷できます。

- **SELPHY シリーズ**
- **PIXUS シリーズ**

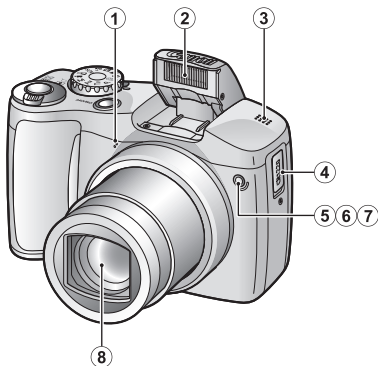
商品の詳細やお使いになれるアクセサリーについては、カメラユーザーガイド裏表紙に記載されているホームページや商品カタログでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

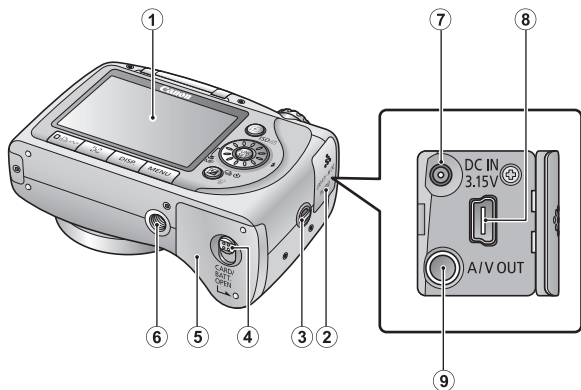
アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

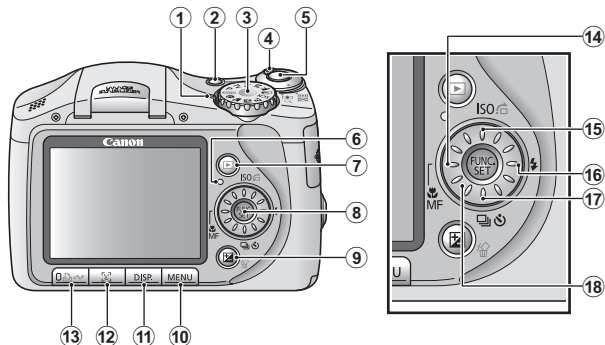
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

もっと
カメラを使ってみよう!

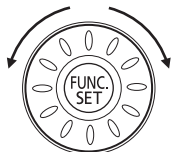
各部の名称

■ 前面

① マイク(p. 145)
② ストロボ(p. 64)
③ スピーカー
④ コイン電池ホルダー(p. 187)
⑤ AF 補助光投光部(p. 47)
⑥ 赤目緩和ランプ(p. 92)
⑦ セルフタイマーランプ(p. 66)
⑧ レンズ

■ 背面

① 液晶モニター(p. 50)
② 端子カバー
③ ストラップ取り付け部(p. 9)
④ メモリーカードスロット/バッテリーカバー開放スイッチ(p. 8、10)
⑤ メモリーカードスロット / バッテリーカバー(p. 8、10)
⑥ 三脚ねじ穴
⑦ DC IN(電源入力)端子(p. 184)
⑧ DIGITAL(デジタル)端子(p. 26)
⑨ A/V OUT(映像 / 音声出力)端子(p. 156)

■ 操作部

① 電源ランプ
② 電源スイッチ(p. 12)
③ モードダイヤル(p. 14、18、74)
④ ズームレバー(p. 59、130、131)
撮影時：(広角)/(望遠)
再生時：(インデックス)/(拡大)
⑤ シャッターボタン(p. 15)
⑥ ランプ(p. 43)
⑦ (再生)ボタン(p. 17)
⑧ FUNC./SET(ファンクション/セット)ボタン(p. 44)
⑨ (露出)/(1 画像消去)ボタン(p. 112、21)
⑩ MENU(メニュー)ボタン(p. 45)
⑪ DISP.(ディスプレイ)ボタン(p. 50)
⑫ (フェイスキャッチ)ボタン(p. 100)
⑬ (イージーダイレクト)ボタン(p. 22、29、149)
⑭ (マクロ)/MF(マニュアルフォーカス)/◆ボタン(p. 65、103)
⑮ ISO/(ジャンプ)/▲ボタン(p. 108、135)
⑯ (ストロボ)/◆ボタン(p. 64)
⑰ (連写)/(セルフタイマー)/▼ボタン(p. 90、66)
⑱ コントローラーホイール(p. 41)

コントローラーホイール

コントローラーホイールは、反時計回りで ← ボタン、時計回りで → ボタンを押すのと同じ働きをします（機能によっては ↑/↓ ボタンの働きをする場合もあります）。
コントローラーホイールで、主に以下のことができます。

この矢印が表示されているときは、コントローラーホイールで操作します。

■ 撮影時の機能

- スペシャルシーンでのモード選択（p. 75）
- ISO/⚡/連写/セルフタイマー/マクロでの項目選択（p. 108、64、90、66、65）
- FUNC. メニューでの項目選択（p. 46）
- 動画モードの選択（p. 78）
- スティッチアシストの方向選択（p. 82）
- **Tv** でのシャッタースピードの選択（p. 85）
- **Av** での絞り数値の選択（p. 87）
- **M** でのシャッタースピードと絞り数値の選択（p. 89）
- 顔セレクト時の AF フレームの移動（p. 100）
- マニュアルフォーカスでのピント合わせ（p. 103）
- 露出補正（p. 112）

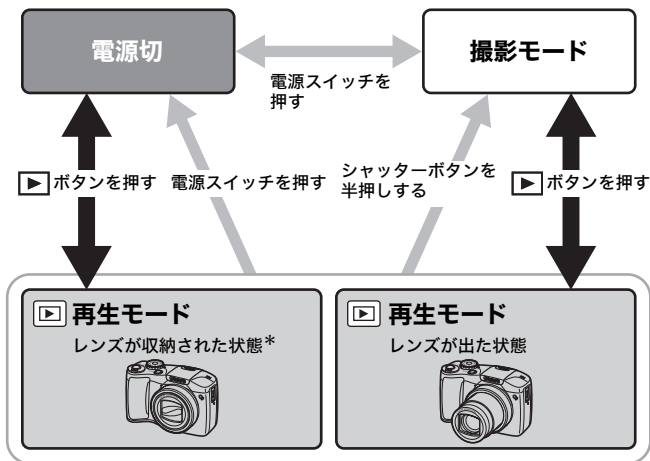
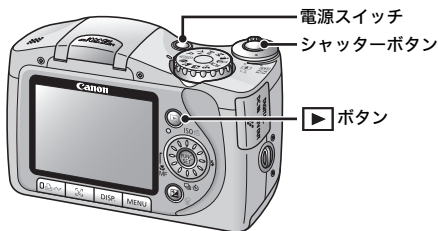
■ 再生時の機能

- 画像選択（p. 17、130、131、135、140、144）
- 動画再生時の各種操作（p. 136）
- 音声メモの操作（p. 145）
- DPOF の印刷指定、送信指定の操作（p. 149、154）

■ 撮影時と再生時の機能

- メニューでの項目選択（p. 44、45）

▶ ボタンの使いかた

▶ ボタンで電源の入 / 切や撮影 / 再生モードの切り換えができます。

*［ (設定)］メニューの［レンズ収納時間］で時間を変更できます (p. 49)。

ランプの点灯 / 点滅について

以下の場合に、カメラ背面のランプが点灯 / 点滅します。

緑点灯：撮影準備完了（電子音が 2 回鳴ります*）
緑点滅：画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン接続時）
橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）
橙点滅：撮影準備完了（手ぶれ警告）
＊ピントが合いにくいときは、電子音が 1 回鳴ります。

ランプが緑色に点滅しているときは、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
- 振動や、衝撃を与える
- 電源を切ったり、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開ける

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約 3 分間、何も操作しないとき。[オートパワーオフ] が [切] でも、液晶モニターを表示して約 1 分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。（電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えると復帰します。）
再生時 プリンター接続時	約 5 分間、カメラの操作を何もしないとき

＊時間を変更できます。

- オートプレイで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 48）。

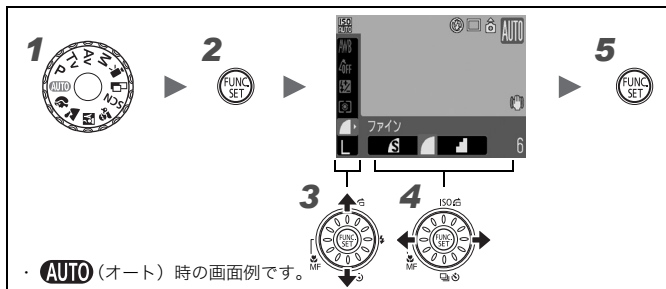
操作の基本

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC.メニューまたは撮影 / 再生 / 印刷 / 設定メニューを使って操作します。

■ FUNC.SET ボタン（FUNC. メニュー）

撮影時に、よく使う機能を設定します。

・AUTO（オート）時の画面例です。

1 **モードダイヤルを撮影したいモードに合わせる**

2 **FUNC.SET を押す**

3 **↑/↓ でメニュー項目を選ぶ**

撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

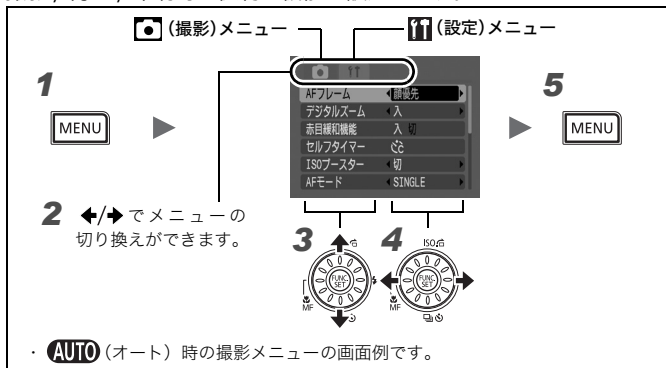
4 **←/→ で設定内容を選ぶ**

- DISP. が表示された設定項目は、DISP.ボタンでさらに変更できます。
- 選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。
- コントローラーホイールを回しても選べます。

5 **FUNC.SET を押す**

■ MENU ボタン（撮影 / 再生 / 印刷 / 設定メニュー）

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

・AUTO（オート）時の撮影メニューの画面例です。

1 MENU を押す

2 ←/→ でメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。
・表示されるメニューは、次のとおりです。
撮影時：撮影 / 設定
再生時：再生 / 印刷 / 設定

3 ↑/↓ でメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。
・コントローラーホイールを回しても選べます。

4 ←/→ で設定内容を選ぶ

「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定し、MENU ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

5 MENU を押す

メニュー一覧と初期設定

巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定（お買い上げ時の設定）を表します。

	項目	参照先
AWB	ホワイトバランス	p. 114
OFF	マイカラー	p. 117
±/	ストロボ調光補正 / ストロボ発光量	p. 120
◎	測光方式	p. 113

	項目	参照先
◢	圧縮率（静止画）	p. 69
L	記録画素数（静止画）	p. 68
640	記録画素数（動画）	p. 81

撮影メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
AF フレーム	顔優先＊ / 中央 （**P**、**Tv**、**Av**、**M**の初期設定は中央）	p. 97
AF フレームサイズ	標準＊ / 小	p. 99
デジタルズーム		p. 60
（静止画）	入＊ / 切 / テレコン 1.6x/ テレコン 2.0x	
（動画）	入＊ / 切（スタンダードモード時のみ）	
スローシンクロ	入 / 切＊	p. 93
ストロボ自動調光	入＊ / 切	p. 119
赤目緩和機能	入＊ / 切	p. 92
セーフティ FE	入＊ / 切	p. 121
セルフタイマー		p. 66
時間	0 ～ 10 ＊、15、20、30 秒	
枚数	1 ～ 3 ＊～ 10 枚	
セーフティシフト	入 / 切＊	p. 88

ISO ブースター	ボタン / 自動 / 切*	p. 109
MF 拡大表示	入* / 切	p. 103
セーフティ MF	入* / 切	p. 104
AF モード	CONT/SINGLE *	p. 96
AF 補助光	入* / 切	p. 38
撮影の確認	切 / 2 *～ 10 秒 / ホールド	撮影直後に画像を表示する時間を設定できます（p. 16）。
レビュー情報	非表示* / 詳細表示 / ピント確認	p. 94
撮影ガイド		p. 124
（静止画）	切* / グリッドライン /3：2 ガイド / 両方	
（動画）	切* / グリッドライン	
手ぶれ補正		p. 72
（静止画）	入* / 撮影時 / 流し撮り / 切	
（動画）	入* / 切	
日付写し込み	切* / 日付のみ / 日付＋時刻	p. 71
ボタン機能登録	*	p. 122

再生メニュー

項目	参照先
オートプレイ	p. 139
赤目補正	p. 140
リサイズ	p. 144
音声メモ	p. 145
プロテクト	p. 147
回転	p. 137
全消去	p. 148
送信指定	p. 154
再生効果	p. 138

印刷メニュー

項目	参照先
印刷	p. 149
印刷する画像を指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	［入］にすると、警告音以外はすべて鳴りません。
音量	切/ 1 / 2＊/ 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、[消音] が [入] になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、音声メモの音量を調節します。
起動画面	入＊ / 切	カメラの電源を入れたときに、起動画面を表示するかどうかを設定します。
液晶の明るさ	－7～0＊～＋7	←/→ ボタンで液晶モニターの明るさを調整します。画像の明るさを確認しながら調整できます。
節電		p. 43
オートパワーオフ	入＊ / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10 秒 /20 秒 /30 秒 / 1 分＊ / 2 分 / 3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
日付／時刻		p. 12

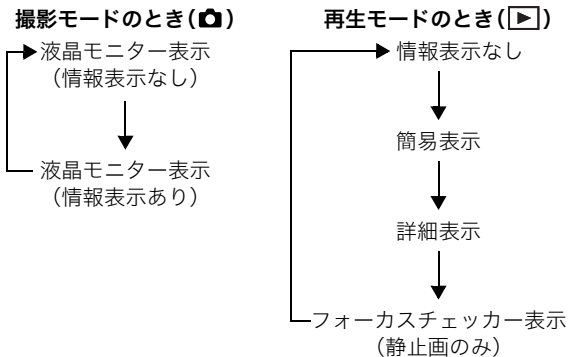
カードの初期化		物理フォーマットも設定できます(p. 58)。
画像番号	通し番号* / オートリセット	p. 128
フォルダ作成		p. 126
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	自動作成する時刻も設定できます。
縦横自動回転	入* / 切	p. 125
距離表示	m/cm * / ft/in	ズームバーや MF インジケーターの距離表示の単位を設定します(p. 103)。
レンズ収納時間	1 分* /0 秒	レンズの収納タイミングを設定します(撮影モードから再生モードへの切り換え時)。
言語		p. 13
ビデオ出力方式	NTSC * /PAL	p. 156
印刷接続方式	自動* /	下記参照
初期設定		p. 57

印刷接続方式について

プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、W(ワイド)で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP750/CP740/CP730/CP720/CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、 を選択してください。この設定は電源を切っても記憶されますので、W 以外の画像サイズを印刷するときは、[自動]に戻してください(ただし、プリンター接続中は変更できません)。

液晶モニターの表示を切り換える

1 DISP. を押す

・DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

・撮影の設定を変更したときは、液晶モニターの設定に関係なく約 6 秒間撮影情報が表示されます。

拡大表示時（p. 130）、インデックス再生時（p. 131）は、詳細表示やフォーカスチェッカー表示に切り換わりません。

液晶モニターの明るさを切り換える

次の 2 つの方法があります。

- **設定メニューで変更する（p. 48）**
- **「LCD ブースター」機能で変更する**

  DISP. ボタンを 1 秒以上押すと、設定メニューで選択されている明るさにかかわらず、最大の明るさに変更できます*。
  - 元の明るさに戻すとき：再度、DISP. ボタンを 1 秒以上押す
  - 次回電源を入れたとき：設定メニューで選択されている明るさで表示される

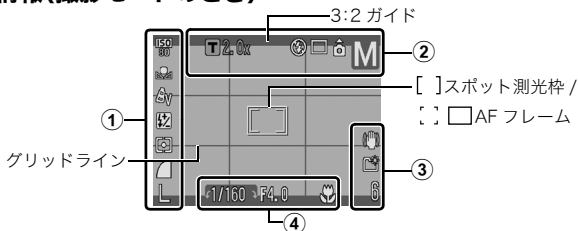
*すでに、設定メニューで最大の明るさに設定されている場合は、変更できません。

「ナイトビュー」機能について

このカメラは、夕暮れや夜間など周囲が暗くて画面が見にくいとき、被写体を液晶モニターに明るく映し出す「ナイトビュー」を搭載*しています。これにより、暗い場所でも構図の確認がしやすくなっています（設定を切ることはできません）。

*液晶モニターにノイズが表示されたり、表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）

①	ISO 感度	ISO AUTO, ISO HI, ISO 80, ISO 100, ISO 200, ISO 400, ISO 800, ISO 1600 (ISO 80 ・・・ ISO 1600) *	p. 108
	ホワイトバランス		p. 114
	マイカラー		p. 117
	ストロボ調光補正 / ストロボ発光量		p. 120
	測光方式		p. 113
	圧縮率（静止画）		p. 69
	記録画素数（静止画）	L M1 M2 M3 S W	p. 68
	記録画素数（動画）	640 640LP 320 160	p. 81
②	デジタルテレコン / セーフティズーム	T 1.6x/2.0x	p. 60
	ストロボ		p. 64
	ドライブモード		p. 90、66
	縦横自動回転		p. 125
	撮影モード	AUTO P Tv Av M	p. 74
	バッテリー残量低下	（赤）	p. 177
	録画（動画撮影中）	●録画（赤）	p. 18、78
	ズームバー		p. 59、61

<table>
<tr><td>②</td><td colspan="2">MF インジケーター</td><td>p. 103</td></tr>
<tr><td rowspan="4">③</td><td>手ぶれ補正</td><td></td><td>p. 72</td></tr>
<tr><td>フォルダ作成通知</td><td></td><td>p. 126</td></tr>
<tr><td colspan="2">静止画：記録可能画像数
動画：記録可能時間 / 記録時間</td><td>p. 195、196</td></tr>
<tr><td>手ぶれ警告</td><td>（赤）＊</td><td>p. 53</td></tr>
<tr><td rowspan="7">④</td><td>AE ロック /FE ロック</td><td></td><td>p. 105、107</td></tr>
<tr><td>シャッタースピード</td><td>15 ～ 1/2500 ＊</td><td>p. 86、89</td></tr>
<tr><td>絞り数値</td><td>F2.8 ～ F11 ＊</td><td>p. 88、89</td></tr>
<tr><td>露出シフトバー（動画）</td><td></td><td>p. 80</td></tr>
<tr><td>露出補正</td><td>-2 ･･･ +2</td><td>p. 112</td></tr>
<tr><td>AFロック/マニュアルフォーカス</td><td>MF</td><td>p. 102、103</td></tr>
<tr><td>マクロモード</td><td></td><td>p. 65</td></tr>
</table>

＊シャッターボタンを半押しすると表示されます。ただし、ストロボ発光時はカメラが自動的に最適条件に再設定するため、再生情報の表示と異なる場合があります。

ランプが橙色に点滅し、が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。以下の方法で撮影してください。

- 手ぶれ補正を［切］以外に設定する（p. 72）
- ISO 感度を上げる（p. 108）
- ISO ブースターを［切］以外に設定する（p. 109）
- ストロボを上げて または にする（p. 64）
- 三脚などでカメラを固定する

再生情報(再生モードのとき)

■ 簡易表示

①	再生画像番号 / 総画像数		—
	フォルダ番号ー画像番号		p. 126、128
	バッテリー残量低下	(赤)	p. 177
②	圧縮率(静止画)		p. 69
	記録画素数(静止画)	L M1 M2 M3 S XS [icon] W	p. 68
	動画	AVI	—
	赤目補正 / リサイズした画像		p. 140、144
	WAVE タイプの音声		p. 145
	プロテクト情報		p. 147
	撮影日時		—

■ 詳細表示

ヒストグラム(p. 56)

①	撮影モード	AUTO P Tv Av M	p. 74
	記録画素数 / フレームレート(動画)	640 640 LP 320 160 30 15	p. 81
	測光方式		p. 113

	ISO 感度	ISO 80 ・・・ ISO1600	p. 108
	シャッタースピード	15 ～ 1/2500	p. 85、89
	絞り数値	F2.8 ～ F11	p. 87、89
	露出補正	± -2 ・・・ +2	p. 112
	ストロボ調光補正	-2 ・・・ +2	p. 120
	ストロボ発光量		p. 120
①	ホワイトバランス	AWB	p. 114
	マイカラー	V N Se BW C	p. 117
	赤目補正		p. 140
	AF ロック / マニュアルフォーカス	MF	p. 102、103
	マクロモード		p. 65
	ファイルサイズ 記録画素数（静止画） 記録時間（動画）		p. 195、196

■ フォーカスチェッカー表示のとき

①	再生画像番号 / 総画像数		―
②	圧縮率（静止画）	S	p. 69
	記録画素数（静止画）	L M1 M2 M3 S XS W	p. 68

動画ではフォーカスチェッカー表示はできません。

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

♪?	WAVE タイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
⚠	DCF（p. 191）の規格と異なる構造を持つ JPEG 画像です。
RAW	RAW タイプです。
?	記録画素数が認識できない画像です。

- 他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。
- 高輝度警告について
  以下のとき、撮影画像に露出オーバー部分があると、その個所が点滅表示されます。
  - 撮影直後に、液晶モニター（情報表示あり）で画像を確認したとき
  - 再生モードで詳細表示にしたとき

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断する目安となるグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します（p. 112）。

ヒストグラム例

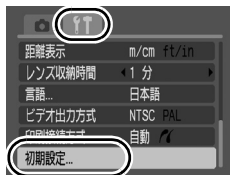
暗い画像

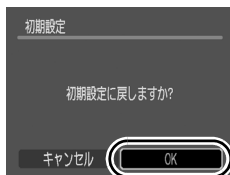
普通の明るさの画像

明るい画像

設定を初期状態に戻す

1 [初期設定]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で[]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[初期設定]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

2 設定する

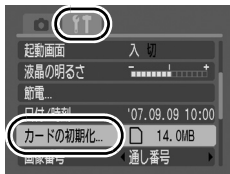
1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - []メニューの[日付 / 時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]の設定(p. 48、49)
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ(p. 115)

カードを初期化する

新しいカードをお使いになるときや、カード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、カードを初期化します。

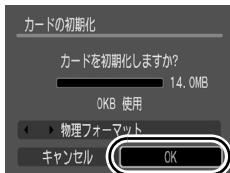
初期化すると、カードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

1 [カードの初期化]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で[🔧]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[カードの初期化]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

2 設定する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・物理フォーマットをする場合は、↑ ボタンで［物理フォーマット］を選び、←/→ ボタンでチェックをつけます。

・物理フォーマットの場合、初期化中に FUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。

物理フォーマットについて

カードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、［物理フォーマット］を選択することをおすすめします。なお、カードによっては、物理フォーマットに 2 ～ 3 分かかる場合があります。

撮影時によく使う機能

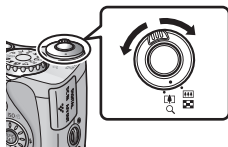
光学ズームで撮る

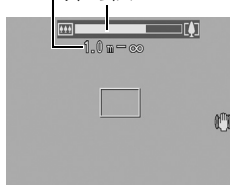
各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

35mm フィルム換算で、36 ～ 360mm（焦点距離）の範囲で画角を調節できます。ズーム操作中は、ズームバーが表示されます。

1 ズームレバーを 側、または 側に押す

- ・**広角**：被写体が小さくなります。
- ・**望遠**：被写体が大きくなります。

ピントの合う範囲(目安)

ズームバー

デジタルズーム / デジタルテレコンで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

＊：デジタルテレコンは設定できません。

光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。
焦点距離（35mm フィルム換算）と特長は次のとおりです。

選択項目	焦点距離	特長
入	36～1440mm	光学ズームとデジタルズームの組み合わせで、最大約40倍に拡大して撮影できます。はスタンダードモード時のみ設定できます。
切	36 ～ 360mm	デジタルズームを使わずに撮影します。
テレコン 1.6x	57.6～576mm	デジタルズームが選択項目の倍率に固定され、焦点距離が望遠側に移動します。同じ画角の撮影では、[入]や[切]のときに比べ、より速いシャッタースピードが利用でき、手ぶれしにくくなります。
テレコン 2.0x	72 ～ 720mm	

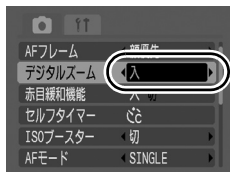
(L 判プリント)、(ワイド) のときは、設定できません。

デジタルズームで撮る

1 [デジタルズーム]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、↑/↓ で[デジタルズーム]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[入]を選ぶ
2. MENU を押す

3 ズームレバーを[♠]側に押し、撮影する

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 記録画素数によっては、画像が粗くなります。このとき、画像が粗くなる倍率は青色で表示されます（p. 62）。
- [♠♠♠]側へ押すと、倍率が下がります。

セーフティズームについて

・このカメラは、設定された記録画素数に応じて、画質が劣化しない倍率まで一時停止することなく光学ズームからデジタルズームに移行する「セーフティズーム」を搭載しています。画質劣化のない最大倍率で が表示されます（動画を除く）。再度 （望遠）側にズームすると、さらに拡大できます。

・設定している記録画素数によって、セーフティズームの位置が次のようになります。また、液晶モニターに表示されるズームバーの表示色は次の領域を示します。

セーフティズーム倍率

記録画素数	光学ズーム	デジタルズーム	
L（3264 × 2448）	10.0x		
M1（2592 × 1944）	13.0x		
M2（2048 × 1536）		16.0x	
M3（1600 × 1200）		20.0x	
S（640 × 480）			40.0x
ズームバーの表示色	白色（□）	黄色（■）	青色（■）
	画像が粗くならない領域		画像が粗くなる領域

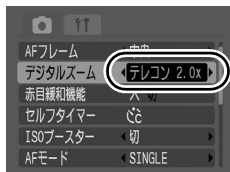
デジタルテレコンで撮る

デジタルズームを使って、テレコンバーター（望遠撮影するためのレンズ）の機能を実現したものが、デジタルテレコンです。

1 [デジタルズーム]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[デジタルズーム]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[テレコン 1.6x]または[テレコン 2.0x]を選ぶ
2. MENU を押す

3 ズームレバーで画角を調節し、撮影する

・液晶モニターに T と倍率が表示されます。
・記録画素数によっては、画像が粗くなります（T と倍率が青色で表示されます)。

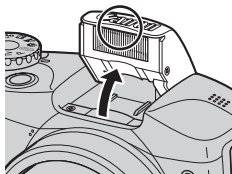
デジタルテレコンの倍率

ストロボを使って撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

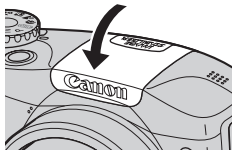
＊ では設定できません

1 ストロボを指で持ち上げる

2 を押す

1. ←/→ でストロボのモードを変更する

：［オート］
：［常時発光］

3 ストロボを使わないときは指で押し下げて収納する

・液晶モニターに（発光禁止）が表示されます。

手ぶれ警告アイコン（）が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

撮影後にストロボの充電を開始すると、ランプが橙色に点滅し、液晶モニターが消えます。充電が完了すると、橙色のランプが消灯し、液晶モニターがつきます。ストロボの充電時間は、使用状況や電池の残量などにより変わります。

至近距離（マクロ）で撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

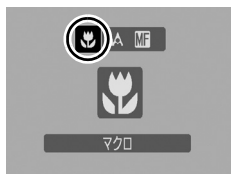
＊ では設定できません

花や小さなものなどに近付いて大きく撮れます。被写体に最も近付いたときの撮影範囲（撮影距離）は、最も広角側で 29 × 21mm（レンズ先端から 1cm）です。

1 を押す

1. ←/→ で を選ぶ

・ズーム操作中にズームバーが表示されます。マクロモードでピントが合わないズーム領域には黄色いバーが表示され、はグレー表示になり、通常撮影と同じ撮影範囲になります。

ズームバー 黄色いバー

解除のしかた： ボタンを押し、←/→ で （通常）を選ぶ

マクロモードで撮影するときにストロボを使うと、画像の周辺部が暗くなることがあります。

セルフタイマーを使って撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN * * P Tv Av M

＊ は設定できません。

撮影の開始時間や撮影枚数を設定して撮影できます。

10	10 秒：シャッターボタンを押してから、10 秒後に撮影します。 ・撮影の 2 秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
2	2 秒：シャッターボタンを押してから、2 秒後に撮影します。 ・シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が速く鳴り、2 秒後に撮影されます。
C	カスタム：セルフタイマーの開始時間（0 ～ 10、15、20、30 秒後）や撮影枚数（1 ～ 10 枚）を変更して撮影できます。 ・［時間］が 2 秒以上の場合、セルフタイマー音は撮影の 2 秒前から速く鳴り始めます。

1 を押す

1. ▲/▼ でセルフタイマーモードを変更する

2 撮影する

・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅（赤目緩和機能設定時は、撮影の 2 秒前から点灯）します。

解除のしかた：手順 1 で を選ぶ

撮影開始時間と撮影枚数を変更する( )

1 [セルフタイマー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[セルフタイマー]を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 設定する

1. ▲/▼ で[時間]または[枚数]を選び、◀/▶ で設定内容を変更する
2. FUNC. SET を押す
3. MENU を押す

［枚数］が 2 枚以上の場合、次のようになります。
- 1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
- カードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

記録画素数を変更する（静止画）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

1 記録画素数を選ぶ

1. FUNC./SET を押す
2. ▲/▼ で L を選び、◀/▶ で記録画素数を変更する
3. FUNC./SET を押す

■ 記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数				用途
L ラージ	8M	3264 × 2448	大きい	A3 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	5M	2592 × 1944	↑	A4 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	3M	2048 × 1536		A5 サイズ程度に印刷するとき
M3 ミドル 3	2M	1600 × 1200		L 判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	0.3M	640 × 480	↓ 小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき
L 判プリント＊	1600 × 1200		L 判やはがきサイズに印刷するとき（p. 70）	
W ワイド＊	3264 × 1832		ワイドサイズの用紙に印刷するとき（縦横比 16：9 の画像を確認でき、記録されない領域は、液晶モニター上に黒帯が表示されます。）	

：およその記録画素数を示しています。「M」は Megapixel の略です。

＊ 連続撮影では設定できません。

圧縮率を変更する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

1 圧縮率を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で を選び、◀/▶ で圧縮率を変更する
3. FUNC. SET を押す

■ 圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）(p. 195)
- 1 画像の容量（目安）(p. 196)

L 判プリントモードに設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

液晶モニターで印刷範囲（縦横比 約 3：2）を確認しながら、「L 判」や「はがき」サイズの印刷に最適な撮影ができます。

1 を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で L を選び、◀/▶ で を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

- 印刷されない領域がグレーになります。
- 記録画素数は約 200 万画素、圧縮率は（ファイン）に固定されます。

デジタルズームやデジタルテレコンは使用できません。

印刷については、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

画像に日付を写し込む

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

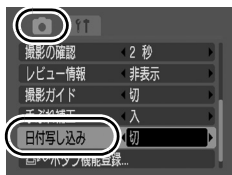
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

(L 判プリント)のとき、画像に日付を写し込むことができます。

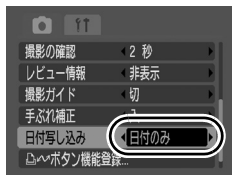
1 を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で L を選び、◀/▶ で を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 [日付写し込み]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[日付写し込み]を選ぶ

3 設定する

1. ◀/▶ で[日付のみ]または[日付+時刻]を選ぶ
2. MENU を押す

・液晶モニターの表示は、次のとおりです。
 [切] のとき：
 [日付のみ] / [日付+時刻] のとき：

- あらかじめカメラの日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください（p. 12）。
- 画像に写し込んだ日付は削除できません。

以外で日付を入れて印刷したいときは、付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX、ImageBrowser）をお使いになるか、プリンターで設定してください。詳細は、各製品の使用説明書でご確認ください。

手ぶれ補正を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

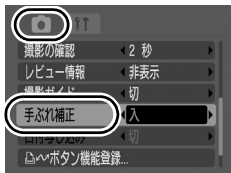
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

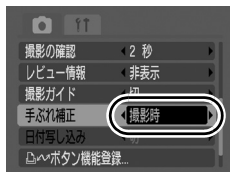
＊［入］のみ設定できます。

レンズシフト式手ぶれ補正を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所でストロボを発光せずに撮影するときでも手ぶれを抑えた撮影ができます。

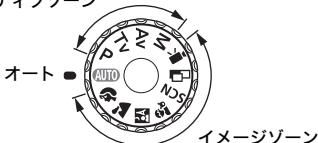
切	手ぶれ補正をしません。
入	常時、手ぶれを補正します。液晶モニターで手ぶれ補正の効果を確認できるため、構図を決めたり、ピント合わせがしやすくなります。
撮影時	シャッターがきれる瞬間のみ手ぶれを補正します。［入］に設定した場合に被写体によっては感じることのある、液晶モニター上の不自然な揺れを気にせずに撮影できます。
流し撮り	カメラが上下方向にぶれたときにだけ、手ぶれを補正します。横方向に動いているものを、カメラで追いかけて撮影するときにおすすめします。

1 ［手ぶれ補正］を選ぶ

1. MENU を押す
2. ［ ］メニューから、▲/▼ で［手ぶれ補正］を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[入]、[撮影時]、[流し撮り]、[切]のいずれかを選ぶ
2. MENU を押す

- シャッタースピードが遅くなる撮影では、手ぶれを補正しきれないことがあります。ISO ブースター（p. 109）を［切］以外に設定するか、三脚を使って撮影してください。
- 手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ［流し撮り］は、カメラを横に構えてお使いください（カメラを縦に構えると補正を行いません）。
- 静止画の撮影モードで［撮影時］または［流し撮り］に設定後、モードダイヤルを動画に変更した場合は、自動的に［入］に変更されます（さらに動画から他の撮影モードに切り換えると、設定は元に戻ります）。

モードダイヤルを使った撮影

モードダイヤル

■ オート

AUTO：カメラまかせで撮影できます（p. 14）。

■ イメージゾーン

撮影状況に応じた撮影モードを選択すると、最適な撮影ができるように、カメラが自動的に設定を行います（p. 75）。

：ポートレート
：風景
：ナイトスナップ
：キッズ & ペット
SCN：スペシャルシーン（p. 75）
：夜景
：新緑 / 紅葉
：ビーチ
：水族館
：パーティー / 室内
：スノー
：打上げ花火
：スティッチアシスト（p. 82）
：動画（スタンダード / ライト）（p. 18、78）

■ クリエイティブゾーン

シャッタースピードや絞り数値を選択するなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。

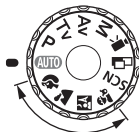
P ：プログラム AE で撮る（p. 84）
Tv：シャッタースピードを決めて撮る（p. 85）
Av：絞りを決めて撮る（p. 87）
M ：自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る（p. 89）

撮影シーンに合わせて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影状況に応じた撮影モードを選択すると、最適な撮影ができるように、カメラが自動的に設定を行います。

1 モードダイヤルを、、またはに合わせる

ポートレート

背景をぼかして人物を浮き立たせます。

風景

近景から遠景まで奥行きのあるシーンの撮影に最適です。

ナイトスナップ

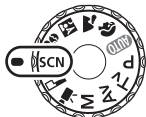
夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

キッズ&ペット

よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

SCN（スペシャルシーン）

撮影シーンに最適な撮影ができます。

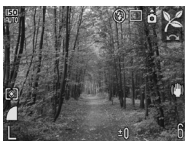
1 モードダイヤルをSCNに合わせる

2 撮影モードを選ぶ

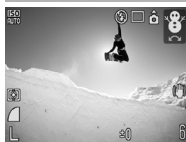
1. コントローラーホイールを回して選ぶ

夜景

夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影できます。人物にストロボ光をあて、遅いシャッタースピードで撮影するため、人物、背景ともきれいに撮影できます。

パーティー / 室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

新緑 / 紅葉

新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。

スノー

雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。

ビーチ

太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。

打上げ花火

打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。

水族館

屋内の水槽内の魚などを撮影するのに適した感度、ホワイトバランス、色味に設定されます。

- 、では、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。
- 、、、では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

動画を撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

動画撮影には、次のモードがあります。
記録可能時間は、お使いのカードによって異なります（p. 196)。

スタンダード
記録画素数を選び、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のカード使用時（推奨カード：SDC-512MSH))。 また、撮影中にデジタルズームが使えます（p. 60)。
・1 回の最大記録容量：4GB＊
ライト
記録画素数が小さく容量が少ないため、メールに添付したり、カードの容量が少ないときなどに使うと便利です。
・1 回の最長記録時間：3 分

＊記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。カードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

1 モードダイヤルを動画に合わせる

2 撮影モードを選ぶ

1. コントローラーホイールを回して選ぶ

3 撮影する

・シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
・シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
・撮影中は、液晶モニターに撮影時間と[●録画]が表示されます。
・再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
 - 最長記録時間や最大記録容量を超えたとき
 - カメラ内部のメモリーやカードの容量がいっぱいになったとき

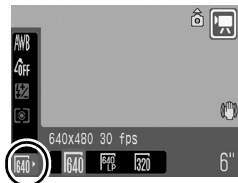
- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したカードをお使いください（p. 58）。付属のカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイク（p. 38）に触れないでください。
  - ボタンなどを押すとその音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。

- 撮影前に、露出の固定（AE ロック）や変更（露出シフト）ができます。スキー場やビーチなど被写体と背景のコントラストが極端に強いシーンや、画面内に明るい場所と暗い場所が混在するシーンで、撮影意図に応じて露出を合わせたいときに有効です。
  1 ISO ボタンを押す
  露出が固定（AE ロック）され、液晶モニターに露出シフトバーが表示されます。
  2 コントローラーホイールで露出を変更する
  もう一度、ISO ボタンを押すと解除できます。また、MENU ボタンを押したり、ホワイトバランス、マイカラー、撮影モードを変更すると解除されます。
- 動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime が必要です (Windows 2000 のみ)。

記録画素数を変更する

（スタンダード）のときは、記録画素数を変更できます（フレームレートは固定となります）。

1 記録画素数を選ぶ

1. (FUNC. SET) を押す
2. ▲/▼ で 640 を選び、◀/▶ で変更する
3. (FUNC. SET) を押す

記録画素数 / フレームレートについて

フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

スタンダード	640 *1	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒
	640 LP *2	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 LP
	320	320 × 240 画素、30 フレーム / 秒
ライト	160	160 × 120 画素、15 フレーム / 秒

*1 初期設定
*2 画質より撮影時間を優先したい場合は、640 LP を選んでください。同じファイル容量で約 2 倍の時間、撮影ができます。

- カードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p. 196）
- 1 画像の容量（目安）（p. 196）

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

1 モードダイヤルをに合わせる

2 撮影の方向を選ぶ

1. コントローラーホイールを回して撮影する方向を選ぶ

→ 左から右方向へ水平に撮影します。
← 右から左方向へ水平に撮影します。

3 最初の画像を撮影する

・1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

4 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

・◆/◆ ボタンを押すと、1 つ前の撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
・オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

5 同様の操作で 3 画像目以降を撮影する

・最大 26 画像まで撮影できます。

6 最後の画像を撮影後、(FUNC. SET) ボタンを押す

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

- パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。
- ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。
  - 露出補正 / 撮影方向の選択

Pプログラム AE で撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。ISO 感度、露出補正、ホワイトバランスなどの設定ができます。

1 モードダイヤルをPに合わせる

2 撮影する

シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないときに、シャッタースピードと絞り数値が赤字で表示されます。次の方法で撮影すると、適正露出が得られ、白字で表示されることがあります。

- ストロボを使用する（p. 64）
- ISO 感度を変更する（p. 108）
- 測光方式を変更する（p. 113）

Tv シャッタースピードを決めて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。
シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

1 モードダイヤルをTvに合わせる

2 シャッタースピードを設定する

1. コントローラーホイールを回して
   シャッタースピードを変更する

シャッタースピード

3 撮影する

・シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値が赤字で表示されるときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、コントローラーホイールを回してシャッタースピードを調節してください（セーフティシフト(p. 88)）。

シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、シャッタースピードが 1.3 秒以上のときに、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- シャッタースピード、ズームと絞り数値の関係は以下のとおりです。

	絞り数値	シャッタースピード(秒)
ワイド端	F2.8 〜 3.5	15 〜 1/1600
	F4.0 〜 5.0	15 〜 1/2000
	F5.6 〜 8.0 *	15 〜 1/2500
テレ端	F4.3 〜 5.6	15 〜 1/1600
	F6.3 〜 8.0 *	15 〜 1/2000

* AUTO では、撮影状況によっては、F11 まで設定される場合があります。

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/500 秒です。したがって、あらかじめ 1/500 秒よりも高速のシャッタースピードを設定していても、撮影時には自動的に 1/500 秒に再設定されます。

シャッタースピードの表示

- 以下のシャッタースピードに設定できます。1/160 は 1/160 秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

15" 13" 10" 8" 6" 5" 4" 3"2 2"5 2" 1"6 1"3 1" 0"8 0"6 0"5 0"4 0"3 1/4 1/5 1/6 1/8 1/10 1/13 1/15 1/20 1/25 1/30 1/40 1/50 1/60 1/80 1/100 1/125 1/160 1/200 1/250 1/320 1/400 1/500 1/640 1/800 1/1000 1/1250 1/1600 1/2000 1/2500

Av 絞りを決めて撮る

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv **Av** M

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調節するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。
絞り数値を小さくする（絞りを開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。
絞り数値を大きくする（絞りを閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

1 モードダイヤルをAvに合わせる

2 絞り数値を設定する

1. コントローラーホイールを回して変更する

絞り数値

3 撮影する

・シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードが赤字で表示されるときは、露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）です。白字で表示されるまで、コントローラーホイールを回して絞り数値を調節してください（セーフティシフト（p. 88)）。

 ズーム位置によっては選べない絞り数値があります（p. 86)。

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/500 秒です。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調シャッタースピードに応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

- 表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります

F2.8 F3.2 F3.5 F4.0 F4.3 F4.5 F5.0 F5.6 F6.3 F7.1 F8.0

セーフティシフト

Tv、**Av** のとき、［ ］メニューの［セーフティシフト］を［入］にすると（p. 46）、適正露出を得られない場合でも、自動的にシャッタースピードまたは絞り数値をシフトして、適正露出で撮影できます。なお、ストロボ発光時は機能しません。

M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、撮影します。

1 モードダイヤルをMに合わせる

2 シャッタースピードと絞り数値を設定する

1. を押して、シャッタースピードまたは絞り数値を選ぶ
2. コントローラーホイールを回して変更する

3 撮影する

・シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに適正露出*からのずれが数字で表示されます。このずれが±2段を超えると、液晶モニターに、「−2」または「+2」と赤字で表示されます。

＊設定されている測光方式をもとに測光を行って、適正露出を算出します。

- 数値設定後にズームを調節すると、ズーム位置に応じて、シャッタースピードや絞り数値が変更される場合があります（p. 86）。
- 液晶モニターは、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで表示されます。速いシャッタースピードを設定したときや、被写体が暗い場合でも、ストロボを（常時発光）にすると、常に明るく表示されます。

いろいろな撮影

連続して撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。
なお、推奨カード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます(p. 195)。

＊推奨カード：
撮影の直前に物理フォーマット（p. 58）を行った超高速の SDC-512MSH（別売）
・ L（ラージ・ファイン）モード時
・ 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・ 連続撮影が中断したときに、カードの容量が余る場合があります。

			撮影中のフォーカス	液晶モニターの表示
	連続撮影 約 1.3 画像 / 秒	短い撮影間隔で連続撮影できます。	固定*	撮影した画像
	AF 連続撮影 約 0.8 画像 / 秒	被写体を確認しながら連続撮影できます。シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影し、連写中もピント合わせが行われます（マニュアルフォーカス時除く）。	オートフォーカス	撮影直前の被写体
	LV(Live View)連続撮影 約 0.8 画像 / 秒	マニュアルフォーカスで設定したピント位置を変えずに、被写体を確認しながら撮影できます。	固定*	撮影直前の被写体

＊ 1 画像目のピント位置で固定されます。

1 **を押す**

1. ▲/▼ で 、 または を選ぶ

2 **撮影する**

・シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：手順 1 で を選ぶ

- では は表示されません（ が選択できます）。
- 時は、AF 枠が［中央］で撮影されます（p. 97）。
- 、 ではレックレビュー（p. 16）を表示しません。

- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- 内蔵ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

赤目緩和機能を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

＊ では設定できません。

ストロボ発光時、ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減します。

1 [赤目緩和機能]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で[赤目緩和機能]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

［入］に設定すると、ストロボ発光前に赤目緩和ランプが橙色に点灯します。

スローシンクロを設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

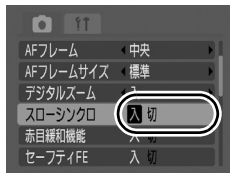
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、ストロボ発光時に背景だけが暗くなるのを軽減できます。

1 [スローシンクロ]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で[スローシンクロ]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

- 、 、SCNモードの 、TvおよびMでは［入］に固定されます。
- スローシンクロで撮影すると手ぶれしやすくなりますので、三脚をお使いになることをおすすめします。

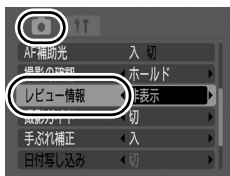
ピントや人物の表情を確認する（フォーカスチェッカー）

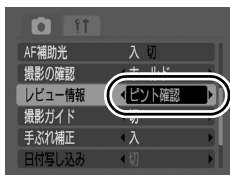
各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影した画像のピントが確認できます。また、AF フレームモードを［顔優先］にして撮影したときは、顔の大きさに合わせた枠が表示されますので、顔の表情や目を閉じていないかなども、かんたんに確認できます。
なお、あらかじめ［ ］メニューの［撮影の確認］で、［ホールド］に設定することをおすすめします（p. 47）。

1 ［レビュー情報］を選ぶ

1. MENU を押す
2. ［ ］メニューから、▲/▼ で［レビュー情報］を選ぶ

2 設定する

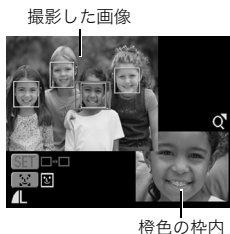
1. ◀/▶ で［ピント確認］を選ぶ
2. MENU を押す

3 撮影する

・撮影した画像が表示されます。
・枠が次のとおりに表示されます。

枠の色	内容
橙	右下に表示された画像の範囲を表示します。
白	ピントの合った位置に表示されます（AF フレーム）。

・橙色の枠は、表示倍率の変更、表示位置の移動、表示フレームの切り換えができます（p. 133、134）。

撮影した画像

橙色の枠内

解除のしかた：シャッターボタンを半押しする

- ［レビュー情報］が［ピント確認］以外の設定のときは、顔のある画像を撮影直後、レックレビュー時（p. 16）にボタンを押すと、フォーカスチェッカー表示になります（ただし、画像内に顔を検出したときのみ）。
- 画像の表示中に、ボタンを押すと画像を消去できます（p. 21）。
- 再生モードでも、ピントの確認ができます（p. 132）。

フォーカス設定を切り換えて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

＊ では［SINGLE］に固定されます。

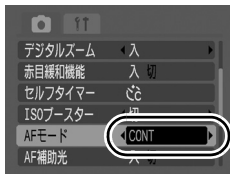
AF の設定を選択します。

SINGLE（シングル）	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。
CONT（コンティニュアス）	シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた位置へ常にピントを合わせます。とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

1 ［AF モード］を選ぶ

1. MENU を押す
2. ［ ］メニューから、▲/▼ で［AF モード］を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で［CONT］または［SINGLE］を選ぶ
2. MENU を押す

AF フレームモードを選択する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN* P Tv Av M

*では設定できません。

オートフォーカス枠（AF フレーム）は、ピントを合わせるための枠です。以下のように AF フレームを選択できます。

┌ ┐ └ ┘	顔優先	カメラが自動的に顔の位置を検出し、顔にピントと露出*を合わせます。またストロボ発光時は、顔の明るさが適正になるように調光します。顔が検出されない場合は［中央］で撮影されます。 *評価測光時のみ（p. 113）
□	中央	AF フレームが中央に固定されます。狙った被写体に確実にピントを合わせるときにおすすめします。

1 [AF フレーム]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[AF フレーム]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[顔優先]または[中央]を選ぶ
2. MENU を押す

・AF フレームのサイズを変更する（p. 99）。

シャッターボタンを半押ししたときの AF フレームの表示は、次のとおりです。

- 緑色：ピントが合っているとき
- 黄色：ピントが合いにくいとき（[中央］設定時）
- 非表示：ピントが合いにくいとき（[顔優先］設定時）

顔優先について

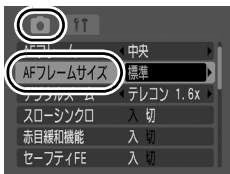
・カメラが顔と認識した位置にフレームが最大 3 つまで表示されます。このとき、カメラが主被写体と判断した箇所に白色のフレーム、その他の箇所にグレーのフレームが表示されます。シャッターボタンを半押しし、ピントがあった場合は最大 9 つまで緑色の AF フレームが表示されます。
・白色のフレームが表示されず、グレーのフレームのみが表示された場合、または顔が検出されなかった場合、撮影時には［顔優先］ではなく［中央］で撮影されます。
・人物以外の被写体を、カメラが誤って顔と検知することがあります。このときは、[中央］を選択してください。
・顔が検出されない主な例は、次のとおりです。
　・顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
　・顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

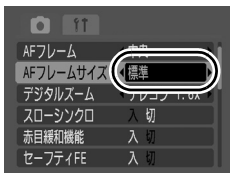
AF フレームのサイズを変更する（[中央]選択時）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

被写体に合わせて AF フレームの大きさを変更できます。狙った被写体が小さいときや、被写体の特定の部分にピントを合わせたいときに、［小］を選択すると、ピントを合わせる範囲を絞り込めます。

1 [AF フレームサイズ]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[AF フレームサイズ]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[標準]または[小]を選ぶ
2. MENU を押す

デジタルズームやデジタルテレコン使用時、あるいはマニュアルフォーカス（p. 103）時は、［標準］に設定されます。

ピントを合わせたい人物を選んで撮る（顔セレクト）

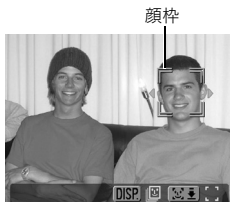
各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード	AUTO SCN* P Tv Av M

＊ では設定できません。

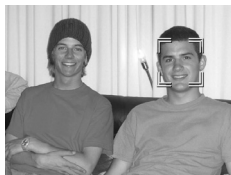
特定の人物の顔を選んでピントを合わせ、一定の範囲で追尾することができます。

1 ピントを合わせたい顔を選ぶ

1. 顔を認識している状態でを押す
   - 顔指定モードになり、主被写体に顔枠（ ）が緑色で表示されます。この枠は被写体が動いても、一定の範囲で追尾します。
2. ピントを合わせたい人物を選ぶ
   - 顔が複数検出されたときは、←/→ ボタンまたはコントローラーホイールを回して、顔枠を他の被写体に移動できます。

顔枠

   - 顔が検出されないときは、顔枠が表示されません。（AF フレームモードが［中央］のときは、画面中央に が緑色で表示されます）。
   - DISP. ボタンを押すと、ボタンを押している間、カメラが検出した顔枠（最大 35 個）を表示します（緑色：主被写体の顔、白色：検出した顔）。
   - MENU ボタン、ボタンは操作できません。

顔枠

3. もう一度[:ː]を押す
・顔指定モードを終了し、主被写体の顔枠（⌜ ⌝）が白色に変わります（一定の範囲で顔を追尾し続けます）。
・FUNC. メニューで撮影機能の設定ができます。

2 シャッターボタンを半押しする

・主被写体の顔枠（⌜ ⌝）が□に変わります。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

解除のしかた：手順 1 で[:ː]を 1 秒以上押し続ける

- 以下の場合は顔セレクトを解除します。
  - 電源を入れ直したとき
  - デジタルズーム、デジタルテレコン使用時
  - MENU ボタンを押して、メニューを表示したとき
  - 顔指定モードで選んだ顔が追尾できなくなってから数秒程度たったとき
- AF フレームモードが［中央］のとき、デジタルズーム使用中は顔セレクトできません。

ピントが合いにくい被写体を撮る（フォーカスロック、AF ロック、マニュアルフォーカス、セーフティMF）

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード	AUTO 🎨 ⛰ 🌃 👶 SCN* ⊏⊐ 🎥 P Tv Av M

＊ ▩ はお使いになれません。

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。
・コントラストが極端に低い被写体
・近いものと遠いものが混在する被写体
・画像中央部が極端に明るい被写体
・高速で移動する被写体
・ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、液晶モニターの AF フレームに収める

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

3 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

＊ AUTO、□■ では設定できません。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF フレームに収める

2 シャッターボタンを半押ししながら、MF ボタンを押す

・MF と MF インジケーターが表示され、被写体までの距離を確認できます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：MF ボタンを押し、←/→ボタンで ▲（通常）を選ぶ

- 🎥では AF フレームは表示されないので、狙った被写体にピントが合うようにカメラを向けてください。
- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたはAFロック撮影をする場合、［AF フレーム］を［中央］（p. 97）にすると、中央の AF フレーム 1 点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- AFロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。

マニュアルフォーカスで撮る

手動でピントを合わせて撮影します。

＊AUTO、□ では操作できません。

1 MF ボタンを押す

1. ←/→ で MF を選ぶ

・MF と MF インジケーターが表示されます。

・［●］メニューの［MF 拡大表示］が［入］のとき、AF フレームを中心に画像が拡大表示＊されます。

＊ 、デジタルズーム時、デジタルテレコン時や、テレビに表示しているときは、拡大表示されません。

＊拡大表示しない設定にもできます（p. 47）。

・撮影モードによって、± ボタンを押すと、以下のように設定できる項目が切り換わります。

、 、 、 、P	露出補正 / MF
SCN	SCN モード / 露出補正 / MF
	モード / MF
Tv	シャッタースピード / 露出補正 / MF
Av	絞り数値 / 露出補正 / MF
M	シャッタースピード / 絞り数値 / MF

2 コントローラーホイールを回して、ピントを合わせる

・MF インジケーターはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。

MF インジケーター

解除のしかた：MF ボタンを押し、←/→ で （通常）を選ぶ

マニュアルフォーカス中は AF フレームの変更はできません。AF フレームを変更するときは、一度マニュアルフォーカスを解除してください。

マニュアルフォーカスとAFを組み合わせて撮る（セーフティMF）

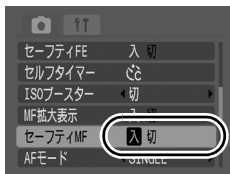
初めにマニュアルフォーカスでおおよそのピントを合わせ、その位置の近傍を自動的にスキャンして、正確なフォーカス位置を検出できます。

＊ AUTO、□ では操作できません。

1 [セーフティMF]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [●] メニューから、▲/▼ で[セーフティMF]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[入]を選ぶ
2. MENU を押す

3 マニュアルフォーカスでピントを合わせ、シャッターボタンを半押しする

・自動的に最もピントの合う位置にフォーカスが微調整されます。

4 そのままシャッターボタンを全押しして撮影する

露出を固定して撮る(AE ロック)

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

1 ストロボが下がっていることを確認する

・ が表示されます。

2 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

3 シャッターボタンを半押ししながら、 を押す

・露出が固定され、 が表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：コントローラーホイール以外のボタンを操作する

- 動画のときも、AE ロックの設定 / 解除ができます（p. 80）。
- ストロボをお使いのときは、FE ロックで撮影してください。

シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

自動的に設定されたシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを、同じ露出のままで自由に変えて撮影できます（プログラムシフト）。

1 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

2 シャッターボタンを半押ししながら、☒ボタンを押す

・露出が固定され、液晶モニターに✱が表示されます。

3 コントローラーホイールを回して、シャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変える

4 構図を決め直して撮影する

・撮影が終了すると、設定は解除されます。

FE ロックで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 ストロボを上げる

2 Pのときは を押して、 (常時発光)を選ぶ

3 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

4 シャッターボタンを半押ししながら、 を押す

・ストロボがプリ発光し、 が表示されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：コントローラーホイール以外のボタンを操作する

［ストロボ自動調光］が［切］のときは、FE ロックできません。

ISO ISO 感度を変更する

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

撮影モード / ISO 感度	AUTO	P	Tv	Av	M
オート（AUTO）	○*	○*	○*	○*	−
高感度オート（HI）	○	○	−	−	−
ISO 80	−	○	○	○	○*
ISO 100	−	○	○	○	○
ISO 200	−	○	○	○	○
ISO 400	−	○	○	○	○
ISO 800	−	○	○	○	○
ISO 1600	−	○	○	○	○

○：設定可　＊：初期設定

1 ISO 感度を変更する

1. ISO を押す
2. ▲/▼ で ISO 感度を変更する

・ ISO AUTO（オート）を選ぶと、撮影時の明るさに応じて画質を優先した最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。

・ ISO HI（高感度オート）*を選ぶと、ISO AUTO よりも感度が高めに設定されます。そのため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影しても ISO AUTO に比べ、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。

＊ ISO AUTO に比べて撮影画像にノイズが増えることがあります。

- 高い ISO 感度で撮影する場合には、カメラが自動的にノイズを低減する処理を行います。
- ISO AUTO または ISO HI に設定した場合、シャッターボタンを半押ししたときや再生情報には、カメラが自動的に設定した ISO 感度が表示されます。

手ぶれを軽減して撮る（ISO ブースター）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影時に手ぶれ警告アイコン（ ）が表示されたとき、ISO 感度を上げ、手ぶれしにくいシャッタースピードで撮影することができます。

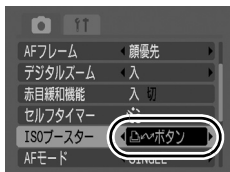
切	この機能を使用しません。
ボタン	変更前と変更後の ISO 感度やシャッタースピードを、液晶モニターで確認しながら撮影できます。
自動	手ぶれしにくい最適な感度に、自動的に設定されます。

- ISO HI、ISO 800、ISO 1600 のとき、およびストロボ発光時は動作しません。
- 撮影の状況によっては、ISO 感度を上げても、手ぶれ警告アイコン（ ）が消えないことがあります。

1 [ISO ブースター]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから、▲/▼ で[ISO ブースター]を選ぶ

2 **設定する**

1. ←/→で[ボタン]、[自動]、[切]のいずれかを選ぶ
2. MENUを押す

■ 撮影する（[ボタン]に設定した場合）

3 **シャッターボタンを半押しする**

・が表示されると、ボタンが青色に点灯します。

4 **シャッターボタンを半押ししたまま、を押す**

・変更後の ISO 感度が表示されます。
・シャッターボタンを半押しした状態で、再度ボタンを押すと、ISO 感度が元の設定に戻ります。
・ISO 感度が上がった後に AE ロック（p. 105）をすると、シャッターボタンを放しても、ISO 感度は元の設定に戻りません。

5 **そのままシャッターボタンを全押しして撮影する**

■ 撮影する([自動]に設定した場合)

3 シャッターボタンを半押しする

・撮影時の明るさに応じて、手ぶれしにくい最適な感度に設定されます。

4 そのままシャッターボタンを全押しして撮影する

露出を補正する

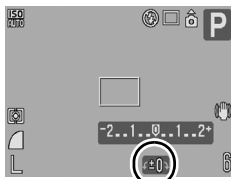
各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまう場合はプラス側に、夜景や背景が暗い場所での撮影で、被写体が明るくなってしまう場合にはマイナス側に露出を補正します。

1 を押して、露出補正バーを表示する

2 補正する

1. コントローラーホイールを回して露出を補正する
2. を押す

・撮影モードによって、ボタンを押すたびに、以下のように設定できる項目が切り換わります。

SCN	SCN モード / 露出補正
	撮影方向 / 露出補正
Tv	シャッタースピード / 露出補正
Av	絞り数値 / 露出補正

解除のしかた：手順 2 で補正値を「0」に戻す

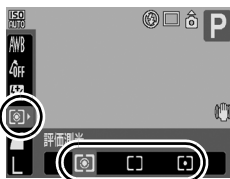
測光方式を切り換える

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	「スポット測光枠」内を測光します。

1 測光方式を変更する

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC. SET を押す

色合いを調整する(ホワイトバランス)

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

通常は、AWB(オート)で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWBで自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものを取り込んで、最適な白データとしてカメラに記憶させてから撮影できます。

1 ホワイトバランスを選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で AWB を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC. SET を押す

マイカラーが Se BW の場合、設定できません。

マニュアルホワイトバランスの使いかた

次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。

・至近距離（マクロ）で撮影するとき
・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 **を選ぶ**

1. FUNC./SET を押す
2. ▲/▼ で AWB を選び、◀/▶ で を選ぶ

2 **白い紙や布にカメラを向け、DISP. を押す**

・液晶モニターを使用時は中央の枠いっぱいに白い紙や布を表示させてください。ただし、デジタルズーム使用時や T が表示されているときは、中央の枠は表示されません。

3 **FUNC./SET を押す**

- 撮影モードをPにし、露出補正を± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：または にしておくことをおすすめします。で白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 取り込んだ白データは、電源を切っても記憶されます。

マイカラーで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

画像の印象を変えて撮影できます。

OFF	マイカラー切	通常設定
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにします。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにします。
Se	セピア	セピア色にします。
BW	白黒	白黒にします。
C	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを調節して撮影します。

V N Se BWのとき

1 マイカラーを設定する

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で OFF を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC. SET を押す

2 撮影する

のとき（カスタムカラーモードを設定する）

1 **を選ぶ**

1. を押す
2. ▲/▼ で を選び、◀/▶ で を選ぶ

2 **調整する**

1. DISP. を押す
2. ▲/▼ で[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]のいずれかを選ぶ
3. ◀/▶ で調整する

・調整結果が表示されます。
・このとき、DISP. ボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

項目を選ぶ　調整する

3 **設定を終了する**

1. を押す

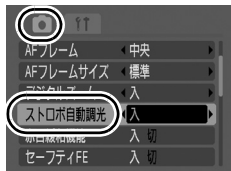
ストロボの自動調光設定を切り換える

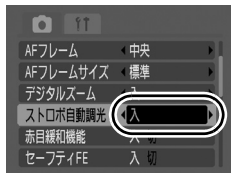
各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

内蔵ストロボは自動調光で発光しますが、自動調光しないように設定することもできます。

1 [ストロボ自動調光]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で[ストロボ自動調光]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
   - [入]：ストロボの調光補正ができます（p. 120）。
   - [切]：ストロボの発光量が設定できます（p. 120）。
2. MENU を押す

ストロボ調光量を補正する

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

標準調光を中心に－２～＋２の範囲で1/3 段ずつ変更できます。また、カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。

Tv、**Av** では、［ストロボ自動調光］が［入］のときに設定できます。

1 ストロボの調光量を補正する

1. (FUNC. SET) を押す
2. ▲/▼ で [ストロボ調光補正アイコン] を選び、◀/▶ で変更する
3. (FUNC. SET) を押す

ストロボ調光量

ストロボ発光量を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

ストロボの発光量をフル発光まで３段階で制御して撮影できます。

Tv、**Av** では、［ストロボ自動調光］が［切］のときに設定できます。

1 ストロボの発光量を設定する

1. (FUNC. SET) を押す
2. ▲/▼ で [ストロボ発光量アイコン] を選び、◀/▶ で変更する
3. (FUNC. SET) を押す

ストロボ発光量

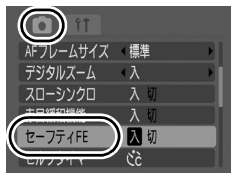
ストロボ撮影時の露出を補正する（セーフティFE）

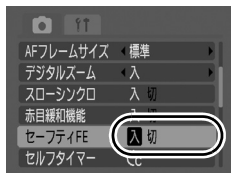
各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られない場合、自動的に絞り数値やシャッタースピードがシフトして白とびを軽減し、適正露出で撮影できます。撮影モードが**Tv**、**Av** のときは、あらかじめストロボの自動調光を［入］に設定しておいてください（p. 119）。

1 [セーフティFE]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で[セーフティFE]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

ボタンに機能を登録する

各撮影モードで設定できる機能一覧（p. 206）

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影時によく使う機能を、（イージーダイレクト）ボタンに1つだけ登録できます。登録できる機能は以下のとおりです。

項目	参照先	項目	参照先
無効	–	デジタルテレコン	p. 62
ホワイトバランス	p. 114	撮影ガイド	p. 124
マニュアル WB（ホワイトバランス）	p. 115	ディスプレイオフ	p. 123

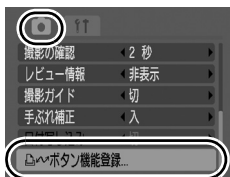
1 [ボタン機能登録]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [] メニューから、▲/▼ で [ボタン機能登録]を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 設定する

ボタン機能登録

無効

SET OK　MENU キャンセル

1. ◀/▶ で登録したい機能を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・アイコンの右下にが表示されていても、機能の登録はできますが、撮影モードまたは設定によっては、ボタンを押してもお使いになれません。

3 を押す

解除のしかた：手順2 でを選ぶ

ボタンを使う

1 **を押す**

- と は、ボタンを押すたびに、設定が切り換わります。
- は、設定画面が表示されます。
- は、ボタンを押すたびに白データを取り込みます。なお、このとき枠は表示されないので、白い紙や布の中央が液晶モニターの中央になるようにして、ボタンを押してください。また、一度この機能を使うと、ホワイトバランスの設定は に変更されます。
- は ボタンを押すと液晶モニターの表示を消せます。次の操作のためにボタン操作をすると液晶画面が表示されます。

撮影ガイドを設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

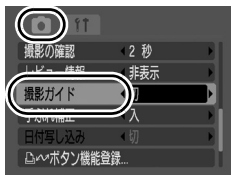
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

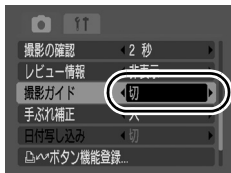
＊［グリッドライン］のみ設定できます。

被写体の水平や垂直、縦横比 3：2 の印刷範囲を液晶モニターで確認しながら撮影できます。

切	ー
グリッドライン	画面を 9 分割したラインを表示します。被写体の水平や垂直を確認できます。
3：2 ガイド	縦横比 3:2 で印刷できる範囲を確認できます＊。印刷されない領域はグレーになります。 ＊記録される画像の縦横比は、通常画面と同じ 4:3 となります。
両方	グリッドラインと 3：2 ガイドの両方を同時に表示できます。

1 [撮影ガイド]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから、▲/▼ で[撮影ガイド]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[切]、[グリッドライン]、[3:2ガイド]、[両方]のいずれかを選ぶ
2. MENU を押す

- 、 のときはグリッドラインのみ設定できます。
- グリッドラインや 3：2 ガイドは画像には記録されません。

縦横自動回転を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 [縦横自動回転]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[縦横自動回転]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

・撮影モードで［入］のときは、液晶モニターに（情報表示ありのとき）、(通常)、(右が下)、または(左が下）が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

画像の保存先(フォルダ)を作成する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

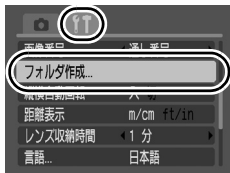
撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

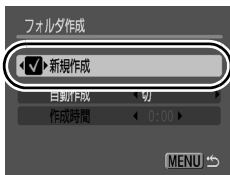
新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

次回撮影時にフォルダを作成する

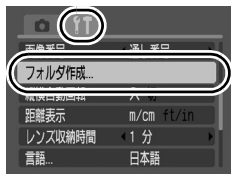
1 [フォルダ作成]を選ぶ

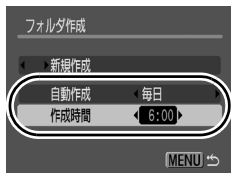
1. MENU を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[フォルダ作成]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

2 設定する

1. ←/→で[新規作成]にチェックマークをつける
2. MENU を 2 回押す

・撮影時、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

指定した日時にフォルダを作成する

1 [フォルダ作成]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [YT] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[フォルダ作成]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

2 設定する

1. ↑/↓ で[自動作成]を選び、←/→ で作成日を選ぶ
2. ↑/↓ で[作成時間]を選び、←/→ で時刻を設定する
3. MENU を押す

・指定した日時になると、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

ひとつのフォルダに最大 2000 画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

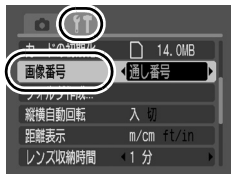
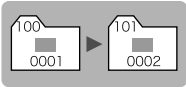
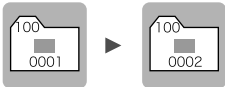
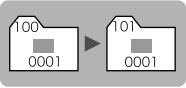
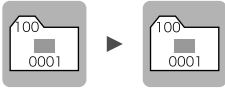
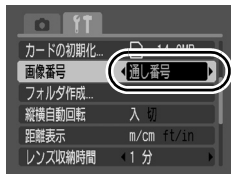
各撮影モードで設定できる機能一覧(p. 206)

撮影モード AUTO SCN P Tv Av M

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけれらます。そのため、フォルダを変更したり、カードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。 * 新規のカードに交換時。記録済みのカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値（100-0001）に戻ります*。フォルダ単位で管理する場合に便利です。 * 新規のカードに交換時。記録済みのカードを入れたときは、そのカードに記録されている画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号の続きの番号になります。

1 [画像番号]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[画像番号]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[通し番号]または[オートリセット]を選ぶ
2. MENU を押す

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
ひとつのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを 新規に作成した場合	他のカードに 交換した場合
通し番号	カード 1 100 0001 ▶ 101 0002	カード 1 100 0001 ▶ カード 2 100 0002
オートリセット	カード 1 100 0001 ▶ 101 0001	カード 1 100 0001 ▶ カード 2 100 0001

- 次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
  - 連続撮影
  - セルフタイマー（カスタムの場合）
  - スティッチアシスト
- 同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
- フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

再生モードでは、コントローラーホイールを回しても画像を選べます。反時計回りで前の画像、時計回りで次の画像を表示できます。「静止画を見る」（p. 17）もご確認ください。

🔍 拡大して見る

1 **ズームレバーを🔍側に押す**

・拡大表示になります。

・最大約 10 倍まで拡大できます。

表示位置の目安

2 **▲/▼ または◀/▶で表示位置を変更する**

・拡大再生中にコントローラーホイールを回すと、拡大したまま前または次の画像を表示できます。

・ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

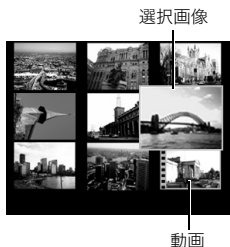
動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9 画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

1 ズームレバーを側に押す

・9 画像ずつ表示されます。
・▲/▼ または ◀/▶ ボタンで選択画像を切り換えます。

選択画像

動画

解除のしかた：ズームレバーを Q 側に押す

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを側に押すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

・◀/▶ ボタンで前または次の9画像を表示します。
・FUNC./SET ボタンを押しながら ◀/▶ ボタンを押すと、最初または最後の 9 画像を表示します。

ジャンプバー

解除のしかた：ズームバーを Q 側に押す

ピントや人物の表情を確認する（フォーカスチェッカー表示）

フォーカスチェッカー表示にすると、ピントや人物の表情が確認できます。また、表示倍率の変更や画像の切り換えもできるため、顔の表情や目を閉じていないかなどもかんたんに確認できます。

表示する

1 フォーカスチェッカー表示になるまで、DISP. を数回押す

・画像に枠が次のとおりに表示されます。

枠の色	内容
橙	右下に表示された画像の範囲を表示します。
白	ピントの合った位置に表示されます。
グレー	再生時に検出された顔の位置に表示されます。

・橙色の枠は、表示倍率の変更、表示位置の移動、表示フレームの切り換えができます（p. 133、134）。

液晶モニターがフォーカスチェッカー表示以外のときに顔のある画像を再生した場合、ボタンを押すと表示倍率を変更できます（ただし、画像内に顔を検出した場合のみ）。

表示倍率を変更する

2 **ズームレバーを Q 側に押す**

・画面右下が大きく表示されます。

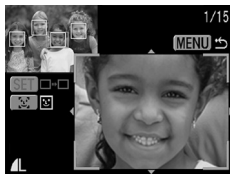
フレームを切り換える

2 **[ ] を押す**

・複数の顔が検出されたときは、[ ]ボタンを押すごとに、橙色の枠の位置が切り換わります。

表示位置を変更する

2 **ズームレバーを 🔍側に押す**

・画面右下が大きく表示されます。

3 **▲/▼ または ◀/▶ で表示位置を変更する**

・複数の顔が検出されたときは、[顔]ボタンを押すごとに、橙色の枠の位置が切り換わります。
・顔が 1 つしか検出されないときは、[顔]ボタンを押すと、橙色の枠が元の位置に戻ります。
・顔が検出された画像で、表示倍率を変更したときは、[顔]ボタンを押すと、橙色の枠は顔のサイズになります。
・画像内に顔を検出しなかったときは、FUNC./SET ボタンを押すと、橙色の枠が元の位置に戻ります。

解除のしかた：MENU ボタンを押す

目的の画像にジャンプする

カードにたくさんの画像を記録しているときは、次の検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	日付	各撮影日の先頭画像を表示する
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示する
	動画	動画を表示する
	10 枚	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する

1 **シングル再生時に、を押す**

・検索ジャンプモードになります。

・検索キーによって、画面例は若干異なります。

2 **▲/▼ で検索キーを選び、◀/▶ を押す**

解除のしかた：MENU ボタンを押す

動画を見る（動画再生パネルの操作）

インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示する

1. ←/→ で動画を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・ SET の表示されている画像が動画です。
・動画再生パネルが表示されます。

2 再生する

1. ←/→ で ▶ を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
・再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SET ボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。
・動画再生中に DISP. ボタンを押すと、再生バーの表示 / 非表示の切り換えができます。
・前回、再生を中断した場合は、最後に再生したフレームから表示されます。

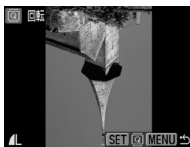
動画再生パネルの操作

	終了	シングル再生に戻ります。
	印刷	プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。
	再生	再生します。
	スロー再生	スロー再生の速度は、◆ボタンで遅く、◆ボタンで速くできます。
	先頭フレーム	先頭フレームを表示します。
	フレーム戻し	FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします。
	フレーム送り	FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします。
	最終フレーム	最終フレームを表示します。

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p. 156）。
- スロー再生中、音声は再生されません。

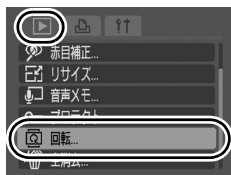
回転して表示する

時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。

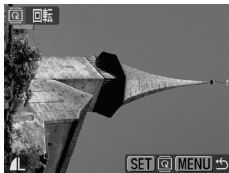
元画像

90 度

270 度

1 [回転]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で を選ぶ
3. FUNC SET を押す

2 回転する

1. ←/→ で回転する画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・FUNC./SET ボタンを押すごとに、90 度 →270 度 → 元画像が表示されます。
・インデックス再生にしても設定できます。

カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

回転結果は画像に記録されるので、次回の表示以降は回転後の画像が表示されます。

効果をつけて再生する

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	表示中の画像が暗くなり、次の画像が徐々に明るく表示されます。
	← ボタンを押すと左側から前の画像が、→ ボタンを押すと右側から次の画像が表示されます。

1 [再生効果]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、↑/↓ で を選ぶ

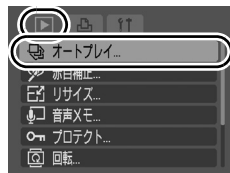
2 **設定する**

1. ←/→ で [icon]、[icon]、[icon] のいずれかを選ぶ
2. MENU を押す

画像を自動再生する(オートプレイ)

カード内の画像を自動再生します。1 画像の表示時間は約 3 秒です。

1 **[オートプレイ]を選ぶ**

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、↑/↓ で [icon] を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

・自動再生中は、次のことができます。
- 一時停止 / 再開：FUNC./SET ボタンを押す
- 画像の送り / 戻し：←/→ ボタンを押す（ボタンを押し続けると早送りします）。
- 中止：MENU ボタンを押す

再生効果（p. 138）を設定している場合は、設定している効果で画像が切り換わります。

赤目を補正する

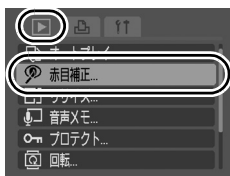
目が赤く写ってしまった画像の赤目の部分を補正できます。

画像によっては赤目が自動的に検出されなかったり、思い通りに補正されない場合があります。

＜主な例＞

- 顔が画面の端にある、または画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

1 [赤目補正]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 画像を選ぶ

1. ◀/▶ で赤目を補正する画像を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・赤目を検出した位置に、自動的に枠が表示されます。

・赤目が自動的に検出されなかった場合は、◀/▶ ボタンで［補正枠の追加］を選び、FUNC./SET ボタンを押します（p. 142）。

・補正枠を削除するには、［補正枠の削除］を選び、FUNC./SET ボタンを押します（p. 143）。

3 補正する

1. ▲/▼ または ◀/▶ で[補正実行]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

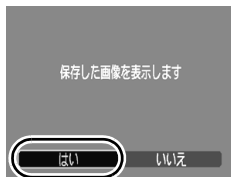
4 保存する

1. ▲/▼ または ◀/▶で[新規保存]または[上書き保存]を選ぶ
2. (FUNC/SET)を押す

・[新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。補正前の画像は残ります。新規に保存された画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
・[上書き保存]：補正前の画像と同じファイル名で保存されます。補正前の画像は残りません。
・[新規保存] の場合は、手順 5 へ進みます。

5 保存した画像を表示する

1. MENU を押す
2. ◀/▶ で[はい]を選ぶ
3. (FUNC/SET)を押す

・[いいえ] を選んだ場合は再生メニューに戻ります。

- 動画は赤目補正できません。
- プロテクトされている画像は、上書き保存できません。

- カードの空き容量が足りないときは、赤目補正はできません。
- 何度でも赤目補正を行うことができますが、画質が低下することがあります。
- 一度赤目補正を行った画像は、自動的に補正枠は表示されません。[補正枠の追加] を選択してください。

補正枠を追加する

1 [補正枠の追加]を選ぶ

1. ▲/▼ または ◀/▶ で[補正枠の追加]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・緑色の枠が表示されます。

2 補正枠の位置を調節する

1. ▲/▼ または ◀/▶ で調節する

・ズームレバーで枠の大きさを変更できます。

3 補正枠を追加する

1. (FUNC. SET) を押す

・補正枠が追加され、枠が白色に変わります。
・さらに枠を追加したいときは、位置を調節して FUNC./SET ボタンを押します。
・補正枠は 35 まで追加できます。
・補正枠の追加を終了するには、MENU ボタンを押します。

赤目を正しく補正するために、以下の点にご注意ください(手順 2 の画面例を参照)。
- なるべく赤目の部分だけを囲むように補正枠の大きさを調節してください。
- 赤目の人が複数いる場合、必ず 1 人ずつ補正枠を設定してください。

補正枠を削除する

1 [補正枠の削除]を選ぶ

1. ▲/▼ または ◀/▶ で[補正枠の削除]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

2 削除する補正枠を選ぶ

1. ◀/▶ で削除したい補正枠を選ぶ

・選択中の枠が緑色で表示されます。

3 補正枠を削除する

1. (FUNC./SET) を押す

・選択した枠が削除されます。
・続けて枠を削除したいときは、手順2から操作を繰り返します。
・補正枠の削除を終了するには、MENU ボタンを押します。

画像の記録画素数を変更する（リサイズ）

大きな記録画素数で撮影した画像を、小さな記録画素数で新規保存できます。

M3	1600 × 1200 画素
S	640 × 480 画素
XS	320 × 240 画素

1 ［リサイズ］を選ぶ

1. MENU を押す
2. ［▶］メニューから、▲/▼ で リサイズ を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 画像を選ぶ

1. ◀/▶ でリサイズしたい画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・リサイズできない画像は、FUNC./SET ボタンを選択できません。

3 記録画素数を選ぶ

1. ◀/▶ で M3、S、XS のいずれかを選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・カードの空き容量によっては、選択できない記録画素数があります。

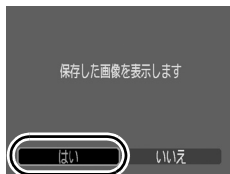
4 保存する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC/SET を押す

・リサイズした画像が新規に保存されます。
・引き続き、他の画像をリサイズしたいときは、手順 2 から繰り返します。

5 保存した画像を表示する

1. MENU を押す
2. ←/→ で[はい]を選ぶ
3. FUNC/SET を押す

・[いいえ]を選んだ場合は再生メニューに戻ります。

動画 または W で撮影した画像はリサイズできません。

音声メモをつける

画像の再生中に、最長 1 分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプで保存されます。

1 [音声メモ]選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶]メニューから、↑/↓ で 音声メモ を選ぶ
3. FUNC/SET を押す

2 画像を選ぶ

1. ←/→ で音声メモをつける画像を選ぶ
2. FUNC.SET を押す

・音声メモパネルが表示されます。

3 録音する

1. ←/→ で ● を選ぶ
2. FUNC.SET を押す

・録音時間と録音可能時間が表示されます。
・FUNC./SET ボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
・1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。
・MENU ボタンを何回か押して、設定を終了します。

音声メモパネルの操作

←/→ ボタンで選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

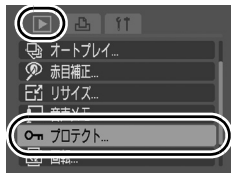
↩	終了	操作を終了します。
●	録音	録音を開始します。
■	停止	録音または再生を停止します。
▶	再生	再生します。
🗑	消去	消去します（表示される画面で［消去］を選び、FUNC./SET ボタンを押します）。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

画像をプロテクト（保護）する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトの設定ができます。

1 [プロテクト]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で O┳ を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 プロテクトする

プロテクトマーク

1. ◀/▶ でプロテクトしたい画像を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・再度 FUNC./SET ボタンを押すとプロテクトを解除できます。
・インデックス再生にしても設定できます。
・MENU ボタンを何回か押して、設定を終了します。

全画像を消去する

カード内の画像を消去します。

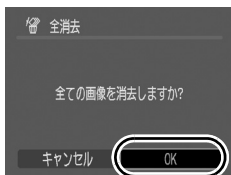
- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 [全消去]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で 🗑 を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 消去する

1. ◀/▶ で[OK]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・全消去を中止したいときは、[キャンセル] を選びます。

画像データだけでなく、カードの記録内容をすべて消去したいときは、カードを初期化してください(p. 58)。

印刷指定 / 送信指定する

印刷指定(DPOF)

カードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたカードの場合、▲ が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

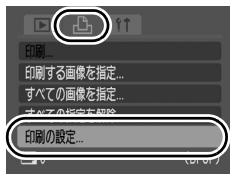
印刷スタイルを設定する

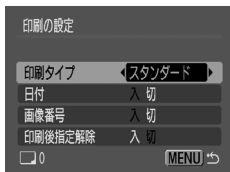
印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。次の内容を設定できます。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付（入 / 切＊）		日付を入れて印刷します。
画像番号（入 / 切＊）		画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除（入＊ / 切）		印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

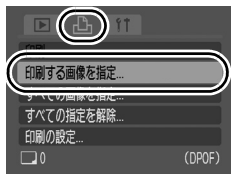
1 [印刷の設定]を選ぶ

1. ▶ を押す
2. MENU を押す
3. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で[印刷の設定]を選ぶ
5. FUNC SET を押す

2 設定する

1. ▲/▼ で[印刷タイプ]、[日付]、[画像番号]、[印刷後指定解除]のいずれかを選ぶ
2. ◀/▶ で設定したい内容を選ぶ
3. MENU を押す

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - [インデックス]のとき
    [日付]と[画像番号]を同時に設定できません。
  - [スタンダード]または[両方]のとき
    [日付]と[画像番号]を同時に[入]に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- 2 枚以上印刷したいとき
  1 [印刷の設定]の[印刷タイプ]を[スタンダード]または[両方]に設定する
  2 [印刷する画像を指定]を選び、印刷したい画像を選んでから、FUNC./SET ボタンを押す
  3 ▲/▼ ボタンで印刷枚数を設定する
- (L 判プリント)で日付を写し込んだ画像(p. 70)は、[日付]の設定にかかわらず、日付が印刷されます。そのため[日付]を[入]に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷される場合があります。
- 日付は、[日付 / 時刻]で設定した日付スタイルで印刷されます(p. 12)。

1 画像ずつ指定する

1 [印刷する画像を指定]を選ぶ

1. ▶ を押す
2. MENU を押す
3. ←/→ で [印刷] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で[印刷する画像を指定]を選ぶ
5. FUNC./SET を押す

・[すべての指定を解除] を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。

2 画像を選ぶ

・印刷タイプの設定（p. 149）によって異なります。

スタンダード( )/ 両方( )のとき

印刷枚数表示

1. ←/→ で画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す
3. ↑/↓ で印刷枚数を指定する(最大 99 枚まで)
4. MENU を押す

・プリンターに接続している場合、画像が指定されると ボタンが青色に点灯します。このとき、 ボタンを押して、[印刷] が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押すと、印刷が開始されます。

インデックス(▦)のとき

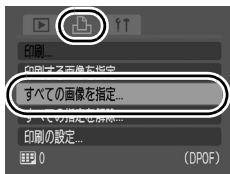
インデックス印刷の選択

1. ←/→ で画像を選ぶ
2. FUNC./SET で指定、指定解除をする
3. MENU を押す

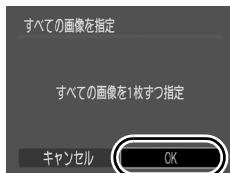
・インデックス再生にしても設定できます。
・プリンターに接続している場合、画像が指定されると 印刷/共有 ボタンが青色に点灯します。このとき、印刷/共有 ボタンを押して、［印刷］が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押すと、印刷が開始されます。

カード内のすべての画像を指定する

1 [すべての画像を指定]を選ぶ

1. ▶ を押す
2. MENU を押す
3. ←/→ で［印刷］メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で[すべての画像を指定]を選ぶ
5. FUNC./SET を押す

・すべての画像に対して 1 枚ずつ印刷指定されます。
・［すべての指定を解除］を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。
・プリンターに接続している場合、印刷/共有 ボタンが点灯します。このとき、印刷/共有 ボタンを押して、［印刷］が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押すと、印刷が開始されます。

2 [OK]を選ぶ

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC.SET を押す

- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。

- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- ［印刷タイプ］が［両方］の場合、印刷枚数は指定できますが、［インデックス］の場合は指定できません。［インデックス］は 1 枚のみ印刷されます。

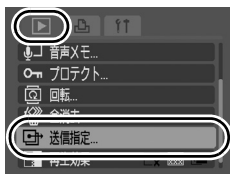
送信指定(DPOF)

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。

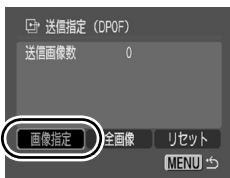
DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたカードの場合、▲ が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 画像ずつ指定する

1 [送信指定]を選ぶ

1. ▶ を押す
2. MENU を押す
3. [▶] メニューから、▲/▼ で 送信指定 を選ぶ
4. FUNC./SET を押す

2 [画像指定]を選ぶ

1. ◀/▶ で[画像指定]を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

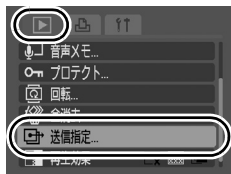
・[リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 画像を選ぶ

送信画像の選択

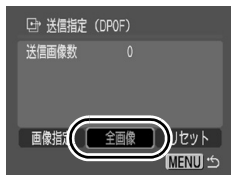
1. ◀/▶ で送信する画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す
   - 再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
   - インデックス再生にしても設定できます。
3. MENU を何回か押す

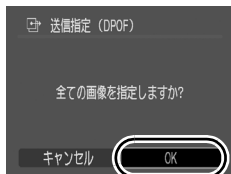
カード内のすべての画像を指定する

1 [送信指定]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから、▲/▼ で 🖳 を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 [全画像]を選ぶ

1. ◀/▶ で[全画像]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・[リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 [OK]を選ぶ

1. ◀/▶ で[OK]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す
3. MENU を何回か押す

- 画像番号の順に送信されます。
- 998 画像まで指定できます。

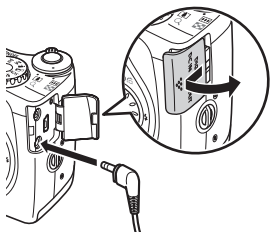
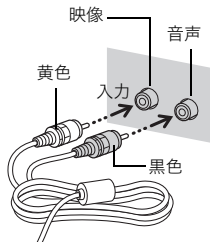
テレビにつなぐ

テレビを使って撮影 / 再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

1 **カメラとテレビの電源を切る**

2 **カメラの A/V OUT 端子に AV ケーブルを接続する**

・端子カバーを左へスライドして開き、AV ケーブルを奥まで差し込みます。

3 **テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する**

4 **テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする**

5 **カメラの電源を入れる**

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください（p. 40）。
メモリーカードスロット / バッテリーカバーが開いています。	●カバーがしっかりと閉じていることを確認してください（p. 9）。
電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください（p. 8）。
不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池またはキヤノン製の単3形ニッケル水素電池を入れてください（p. 177）。
電池の残量が少なく動作不能です（「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます）。	●未使用の電池、または十分に充電された充電池に2本とも交換してください（p. 8）。 ●ACアダプターキット ACK800（別売）を使用してください（p. 34、184）。
カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。 ●電池を数回入れ直してください。

カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SDメモリーカード、SDHCメモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	●書き込み、消去、初期化したいときは、ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 179）。
日付 / 時刻の設定画面が表示された	
コイン型リチウム電池の容量がなくなっています。	●コイン型リチウム電池を交換してください（p. 187）。
コイン電池ホルダーを抜きました。	●日付と時刻が初期化されるため、再度日付と時刻を設定してください（p. 12）。

液晶モニター

表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	●これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません）。
画面がちらつく	
蛍光灯の下で撮影しています。	●カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。

赤紫などの帯が表示された

太陽や照明などの明るい被写体を撮影するときに表示されることがあります。	● これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。

が表示された

光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	● 手ぶれ補正を［切］以外に設定してください（p. 72）。 ● ISO 感度を上げてください（p. 108）。 ● ISO ブースターを［切］以外に設定してください（p. 109）。 ● ストロボを（発光禁止）以外に設定してください（p. 64）。 ● セルフタイマーを設定し、三脚などでカメラを固定して撮影してください（p. 66）。

が表示された

DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定またはスライドショーの画像指定されたカードです。	● このカメラでそれらの印刷指定または送信指定を変更すると、設定内容は、すべて書き換えられますので、ご注意ください（p. 149、154）。

ノイズが表示される / 被写体の動きがぎこちない

暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p. 51）。	● 記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない

原因	対処方法
再生モード、またはパソコン接続 / プリンター接続モードになっています。	● 撮影モードに切り換えてください（p. 42）。 ● パソコン接続 / プリンター接続モード時は、インターフェースケーブルを抜いてから撮影モードに切り換えてください。
ストロボが充電中です。	● 充電が完了するとランプが橙色に点灯し、撮影できます（p. 43）。
カードの空き容量がありません。	● 新しいカードを入れてください（p. 10）。 ● 必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
カードが正しく初期化されていません。	● カードを初期化してください（p. 58）。 ● カードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。お客様相談センターにお問い合わせください。
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	● ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 179）。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

原因	対処方法
シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●「が表示された」（p. 159）でご確認ください。

AF 補助光が［切］になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が［切］だと機能しないので、［入］にして、AF 補助光を発光させてください（p. 47）。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 190）。 ●意図しない機能が設定されている可能性があります（例えば（マクロ）や MF（マニュアルフォーカス）など）ので、設定を解除してください。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AFロックまたはマニュアルフォーカスで撮影してください（p. 101）。

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	●内蔵ストロボを上げて（常時発光）にしてください（p. 64）。
周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー（露出不足）になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p. 112）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 105、113）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ調光範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 191）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p. 108）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする	
被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	● ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ調光範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 191）。 ● ストロボ調光補正（p. 120）でストロボの発光量を調節してください。 ● セーフティ FE を［入］にしてください（p. 121）。
周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー（露出過多）になっています。	● 露出補正値をマイナス側に設定してください（p. 112）。 ● AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 105、113）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	● 被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが（常時発光）になっています。	● ストロボを下げて（発光禁止）にしてください（p. 64）。

画像にノイズがある	
ISO 感度が高すぎます。	● 高い ISO 感度や（高感度オート）を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください（p. 108）。 ● 、やSCNモードの、、あるいは ISO ブースターを使用したときは、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側や、Avモードで絞り数値を大きくして撮影したときに、目立ちやすくなります。	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	●撮影メニューの［赤目緩和機能］を［入］に設定して撮影してください（p. 92）。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。 ●赤目で撮影された画像は、［赤目補正］で修正できます（p. 140）。

連続撮影速度が遅くなった

カードの性能が低下しました。	●連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラで カードを物理フォーマットすることをおすすめします（p. 58）。

カードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したカードが入っています。	●このカメラで初期化したカードをお使いください（p. 58）。

レンズが出たままで収納されない

電源を入れたまま、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	●メモリーカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

以下のようなカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影 / 消去を繰り返した	● 撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。カードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いカードを除く）（p. 58）。

液晶モニターに「！」が赤く表示され、撮影が自動的に終了した

カメラの内部メモリーが少なくなりました。	● 以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にカードを物理フォーマットする（p. 58） - 記録画素数を小さくする（p. 81） - 高速のカード（SDC-512MSH など）を使用する

ズームできない

動画撮影中にズームレバーを押しました。	● 撮影前にズームを操作してから、動画を撮影してください (p. 60)。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます（スタンダードのみ）。

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	● 付属の ZoomBrowser EX や Image Browser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。 詳細は、ZoomBrowser EX / Image Browser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。

ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください。詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

編集できない

他のカメラで撮影した画像は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

大きな記録画素数で撮影した動画を、読み込み速度の遅いカードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

このカメラで撮影した画像は、他のカメラで正しく再生できない場合があります。

カードからの画像の読み出しが遅い

違う機器で初期化したカードが入っています。	●このカメラで初期化したカードをお使いください（p. 58）。

電池

電池の消耗が早い

電池の性能が十分に発揮されていません。	●電池の取り扱いを、「取り扱い上の注意（p. 177）」でご確認ください。
不適切な電池が入っています。	●未使用の単3形アルカリ電池、またはキヤノン製の単3形ニッケル水素電池を入れてください（p. 177）。
周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。 ●電池を数回入れ直してください。

キヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池をお使いの場合	
1 年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	● フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
充電池の寿命です。	● 2 本ともすべて未使用の充電池と交換してください。

テレビ出力

テレビに出力できない / 画面が乱れる	
お使いの地域のビデオ出力方式に合っていません。	● 正しいビデオ出力方式（NTSC または PAL）に合わせてください（p. 49）。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	● スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（p. 82）。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない	
カメラとプリンターが正しく接続されていません。	● 指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	● プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	● ［ ］メニューの［印刷接続方式］で［自動］を選択してください（p. 49）。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...

撮影した画像をカードに記録しています。または、再生モードを起動中です。
カメラやメニューの設定を初期設定に戻しています。

カードがありません

カードをカメラに入れずに、電源を入れました。または、カードが正しい向きに入っていません（p. 10）。

ライトプロテクト

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています（p. 179）。

記録できません

カードがカメラに入っていない、または正しい向きに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

カードに異常がある可能性があります。異常のあるカードは、本製品で初期化するとお使いになれる場合があります（p. 58）。ただし、本製品付属のカードをお使いになっても、このエラーメッセージが表示される場合には、カメラの故障が考えられますので、修理受付窓口にお問い合わせください。

カードがいっぱいです

カードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存はできません。また、これ以上、画像指定や音声メモの録音はできません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［画像番号］を［オートリセット］に設定してください。または、必要な画像をパソコンに取り込んだ後、カードを初期化してください。なお、初期化すると、カード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに 2 本とも未使用の単 3 形アルカリ電池か、充電されたキヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池に交換してください。
また、電池の取り扱いは、「取り扱い上の注意（p. 177）」でご確認ください。

画像がありません

カードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

5616 × 3744 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像（パソコンで編集した画像など）を再生しようとしました。

RAW

互換性のない RAW 画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

データが破壊されている画像、互換性がない画像（他社カメラ特有の記録タイプなど）、パソコンで編集した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。また、音声の再生もできません。

処理できない画像です

動画またはこのカメラ以外で撮影した画像を赤目補正またはリサイズしようとしました。
または W で撮影した画像をリサイズしたり、XS にリサイズした画像を再びリサイズしようとしました。

処理できませんでした

赤目を検知しなかったため、赤目補正処理ができませんでした。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、[パソコンの背景] を選び、動画を指定しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定の画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定の画像指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

通信エラー

カードに大量の画像（1000 画像程度）があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。USB カードリーダーや PC カードアダプターを使って画像を取り込んでください。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、修理受付窓口へお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えて修理受付窓口へお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

付録

安全上のご注意

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、電池、バッテリーチャージャー（別売)、コンパクトパワーアダプター（別売）

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⊘記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警告

本機器

●カメラを太陽や強い光源に向けないでください。

・撮像素子（CCD）が損傷する場合があります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・リストストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・カード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外すか、バッテリーチャージャーあるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災、感電の原因となります。

電池

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外の電池を使用しないでください。

電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●キヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池を充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他の製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

⚠注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

●撮影時に、レンズの先端を強く押しつけたり、ぶつけたりしないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気、ほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、電池を取り出し、保存してください。

カメラに、電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後、発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

● **カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。**

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

● **カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。**

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

結露が発生したときは

● **カメラを使用しないでください。**

故障の原因になります。
カメラを使う場合は、カード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

電池の取り扱い

電池残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

🔋	**バッテリーを交換してください**
電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに電池を交換してください。	電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

取り扱い上の注意

●**このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、キヤノン製単3形ニッケル水素電池（別売）です。**

単3形ニカド電池もお使いになれますが、性能のばらつきがあり、おすすめはできません。

●**アルカリ電池は銘柄によって、付属のアルカリ電池に比べ使用可能時間が短い場合があります。**

アルカリ電池は銘柄により容量や特性に差があります。

●**低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池（別売）のご使用をおすすめします。**

アルカリ電池は低温下では使用可能時間が短くなります。またニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。

●**新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**

古い電池が液漏れを起こすことがあります。

●**電極（⊕と⊖）を逆にして入れないでください。**

●**メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。**

●**電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてください。**

電極が皮脂などで汚れていると、記録可能画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。

●低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコン（▭）が早めに表示されることがあります。

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

●ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。

電池がショートするおそれがあります。

●長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。

電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

⚠ 警告

外装シールが（一部または全体に関わりなく）剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

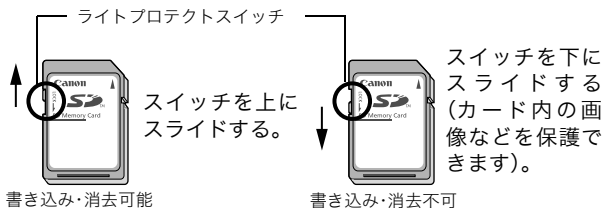
以下のような形状の電池はご使用になれません。

外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池（裸電池）

プラス電極が平らな電池

マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

カードの取り扱い

SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのライトプロテクト(書き込み防止)スイッチについて

取り扱い上のご注意

- **曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **分解したり、改造しないでください。**
- **端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。**
- **貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。**
- **文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。**
- **下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  - ・ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - ・高温多湿の場所
- **大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。**

  電気ノイズ、静電気、カメラやカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、カードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

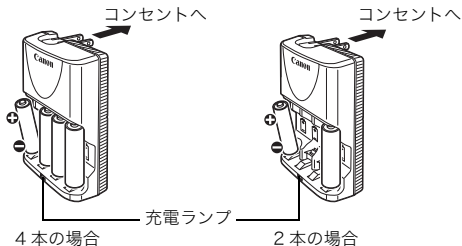
・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、カードを入れ直し、再度初期化してください。

●カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

電源キット（別売）の使いかた

充電式バッテリーを使う（バッテリー / チャージャーキット CBK4-300）

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池 4 本が入っています。次のように電池を充電してください。2 本でも充電できます。

・バッテリーチャージャーに電池を装着してから、コンセントに差してください。
・電池の充電開始後に、電池を追加して充電しないでください。
・充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

- バッテリーチャージャー CB-5AH はキヤノン製単3形ニッケル水素電池 NB-3AH、NB-2AH 専用です。その他の電池を充電しないでください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している 2 本を同時に充電してください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 充電は、「バッテリーを交換してください」というメッセージが液晶モニターに表示されてから行ってください。使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。

- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画像数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを２～３回繰り返してから充電してください。）
  - 電池の充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーの充電ランプが点灯する）とき
- お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- 電池を長期間（1年程度）保管する場合は、カメラで電池を使い切ってから、湿度の低い、室温（0～30℃）で保管してください。フル充電の状態で長期間保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。また1年以上使用しないときは、年に1度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてから充電ランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン製の単３形ニッケル水素電池をご購入ください。
- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。使用しないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して、乾燥した冷暗所に保管してください。

- 電池を使い切った状態からフル充電するまでの時間は、約 4 時間 40 分です。2 本を両端にセットしたときは、約 2 時間です（当社測定基準による）。また、0 ～ 35 ℃の環境で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが故障ではありません。
- バッテリー / チャージャーキット CBK4-200 もお使いになれます。

・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・ニッケル水素電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします
- 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
- 「有限責任中間法人 ＪBRC」および「キヤノン / キヤノンマーケティングジャパン」

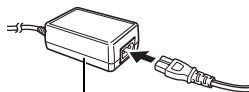
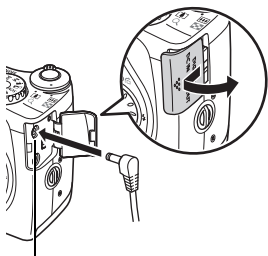
有限責任中間法人 JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノンサポートページ
canon.jp/support

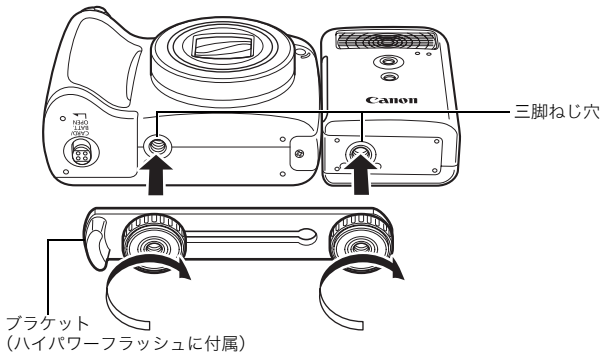
AC アダプターキット ACK800 を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK800（別売）のご利用をおすすめします。

カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 **コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む**

2 **端子カバーを左へスライドして開き、DC 端子を接続する**

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

- 以下の場合、ハイパワーフラッシュは発光しません。
  - 撮影モードが**M**のとき
  - ストロボ自動調光が[切]のとき
- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。

- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面が平行になるように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

電池について

● 電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

● 寒冷地でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

● お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

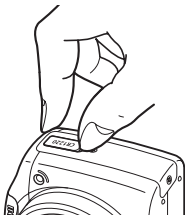
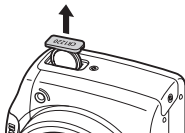
コイン型リチウム電池を交換する

カメラの電源を入れたとき、日付 / 時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン型リチウム電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン型リチウム電池（CR1220）をお求めのうえ、次の手順で交換してください。

最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池寿命が規定よりも短くなることがあります

コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の素材の化学物質により胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 電源が切れていることを確認する

2 コイン電池ホルダーに爪をかけて軽く引き上げる

3 矢印の方向に取り出す

4 コイン型リチウム電池を矢印の方向に引き上げながら取り出す

5 **新しいコイン型リチウム電池の(−)側を上にして取り付ける**

6 **コイン電池ホルダーを元の位置に戻す**

7 **日付 / 時刻設定メニューが表示されたら、日付 / 時刻を設定する（p. 12）**

カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付 / 時刻の設定画面が表示されますが、コイン型リチウム電池を交換する必要はありません。

海外で使うとき

電源について

海外でもお使いになれます。

バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p. 49）。

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りの修理受付窓口（別紙でご確認ください）にご相談ください。

液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot SX100 IS

(W):ワイド端　(T):テレ端

カメラ部有効画素数	：約 800 万画素
撮像素子	：1/2.5 型 CCD（総画素数 約 830 万画素）
レンズ	：6.0（W）－ 60（T）mm (35mm フィルム換算 36（W）－ 360（T）mm) F2.8（W）－ F4.3（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 40 倍）
液晶モニター	：2.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター（広視野角タイプ）約 17.2 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス AF ロックおよびマニュアルフォーカス可能 AF フレームモード：顔優先* / 中央** ＊特定の顔に移動・固定可能 また、顔が検知されない場合は中央 1 点 ＊＊大きさの選択可能
撮影距離（レンズ先端より）	：通常撮影：50cm ～∞（W）/1m ～∞（T） マクロ撮影：1 ～ 50cm（W） マニュアルフォーカス撮影：1cm ～∞（W）/ 1m ～∞（T） キッズ & ペット：1m ～∞（W/T）
シャッター	：メカニカルシャッター ・電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/2500 秒 ・撮影モードによって異なる ・シャッタースピードが 1.3 秒以上のときはノイズリダクション処理あり
手ぶれ補正	：レンズシフト式 入 / 撮影時* / 流し撮り* / 切 ＊静止画のみ
測光方式	：評価* / 中央部重点平均 / スポット ＊顔優先 AF 時は顔の明るさを考慮
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）、セーフティシフト可能

ISO 感度 (標準出力感度・推奨露光指数)	：オート*、高感度オート*、ISO 80/100/200/400/800/1600 *オート、高感度オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H/ マニュアル
内蔵ストロボ	：オート / 常時発光 / 発光禁止 ストロボ調光補正 ±2 段（1/3 段ステップ）/ 赤目緩和 / 発光量（3 段階）/FE ロック / スローシンクロ / セーフティ FE 設定可能
内蔵ストロボ 調光範囲	：50cm ～ 3.0m（W）/50cm ～ 2.0m（T） (ISO 感度設定：オート)
撮影モード	：オート クリエイティブゾーン： **P** プログラム / **Tv** シャッタースピード優先 / **Av** 絞り優先 / **M** マニュアル イメージゾーン： ポートレート / 風景 / ナイトスナップ / キッズ&ペット / スペシャルシーン* / スティッチアシスト / 動画** *夜景、パーティー / 室内、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、水族館 **スタンダード、ライト
連続撮影	：約 1.3 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき） 約 0.8 画像 / 秒（AF 連続撮影、ラージ・ファインモードのとき） 約 0.8 画像 / 秒*（LV 連続撮影、ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
記録媒体	：SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード /MMCplus カード / HC MMCplus カード
ファイルフォーマット	：DCF 準拠*、DPOF 対応 *DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

データタイプ	：静止画：Exif 2.2（JPEG）＊ ：動画：AVI（画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（モノラル）） ：音声メモ：WAVE（モノラル） ＊このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	：ラージ　：　3264 × 2448 画素 ミドル 1：　2592 × 1944 画素 ミドル 2：　2048 × 1536 画素 ミドル 3：　1600 × 1200 画素 スモール：　640 × 480 画素 L 判　：　1600 × 1200 画素 ワイド　：　3264 × 1832 画素
（動画）	：スタンダード ：640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 ：640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 LP ：320 × 240 画素、30 フレーム / 秒 カードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊ （1 回の最大記録容量：4GB ＊＊） ライト：160 × 120 画素、15 フレーム / 秒 1 回の最長記録時間：3 分 ＊超高速のカード使用時（推奨カード：SDC-512MSH） ＊＊記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。カードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。
音声	：量子化ビット：8 ビット サンプリングレート 音声メモ、動画：11kHz
リモート撮影	：パソコン接続時、付属のソフトウェアで撮影可能

再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル 9 画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ 赤目補正 / ジャンプ（日付 / フォルダ / 動画 /10 枚 /100 枚。インデックス再生時は、9 画像ずつ再生）/ オートプレイ / 音声メモ（最長 1 分まで記録 / 再生が可能）/ 動画再生（スロー再生可能））/ リサイズ
ダイレクトプリント方式	：PictBridge/CP ダイレクト /Bubble Jet ダイレクト対応
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B） 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声）
通信プロトコル設定	：MTP、PTP
電源	：単 3 形アルカリ電池（2 本） 単 3 形充電式ニッケル水素電池（NB4-300）（別売）、AC アダプターキット ACK800（別売）
動作温度	：0 ～ 40 ℃（NB-3AH 使用時は 0 ～ 35 ℃）
動作湿度	：10 ～ 90%
大きさ (突起部を除く)	：108.7 × 71.4 × 46.7mm
質量（本体のみ）	：約 265g

バッテリー性能

	撮影画像数 液晶モニター表示時 (CIPA 測定法準拠)	再生時間
単３形アルカリ電池（付属品）	約 140 画像	約 7 時間
単３形ニッケル水素電池 (NB-3AH（フル充電）)	約 400 画像	約 10 時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）で、２回に１回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

・キヤノンブランドのメモリーカードを使用

＊電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）の環境において、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生。

電池の取り扱いについて（p. 177）

カードの種類と記録可能画像数 / 時間(目安)

□ :付属のカード

記録画素数	圧縮率	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L (ラージ) 3264 × 2448 画素	S	3	35	139
		6	59	231
		13	123	479
M1 (ミドル 1) 2592 × 1944 画素	S	5	49	190
		9	87	339
		19	173	671
M2 (ミドル 2) 2048 × 1536 画素	S	8	76	295
		15	136	529
		30	269	1041
M3 (ミドル 3) 1600 × 1200 画素	S	13	121	471
		24	217	839
		47	411	1590
S (スモール) 640 × 480 画素	S	52	460	1777
		81	711	2747
		128	1118	4317
(L 判プリント) 1600 × 1200 画素		24	217	839
W (ワイド) 3264 × 1832 画素	S	5	47	183
		8	79	307
		18	166	642

:スムーズ連写(p. 90)できます。(物理フォーマット時)
当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件により変わります。

動画

□ :付属のカード

	記録画素数 / フレームレート	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード	640 × 480 画素 / 30 フレーム / 秒	6 秒	1 分 4 秒	4 分 9 秒
	640 × 480 画素 / 30フレーム/秒(LP)	14 秒	2 分 7 秒	8 分 14 秒
	320 × 240 画素 / 30 フレーム / 秒	20 秒	3 分 1 秒	11 分 42 秒
* ライト	160 × 120 画素 / 15 フレーム / 秒	1 分 40 秒	14 分 29 秒	55 分 57 秒

・ 動画の 1 回の最長記録時間は、 : 3 分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

1 画像の容量(目安)

記録画素数		圧縮率		
		S		
L	3264 × 2448 画素	3436KB	2060KB	980KB
M1	2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M2	2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M3	1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
	1600 × 1200 画素	–	558KB	–
W	3264 × 1832 画素	2601KB	1540KB	736KB

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード	640 640 × 480 画素	30 フレーム / 秒	1920KB/ 秒
		30 フレーム / 秒(LP)	960KB/ 秒
	320 320 × 240 画素	30 フレーム / 秒	660KB/ 秒
ライト	160 160 × 120 画素	15 フレーム / 秒	120KB/ 秒

マルチメディアカード

インターフェース	マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 1.4mm
質量	約 1.5g

SD メモリーカード

インターフェース	SD メモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 2.1mm
質量	約 2g

ニッケル水素電池 NB-3AH

（別売のニッケル水素電池パックNB4-300またはバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属）

形式	単 3 形ニッケル水素電池
公称電圧	DC 1.2V
公称容量	2500mAh（最小：2300mAh）
充放電回数	約 300 回（目安）
使用温度	0 ～ 35 ℃
直径×長さ	14.5mm × 50.0mm
質量	約 30g

バッテリーチャージャー CB-5AH

（別売のバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 16VA（100V）～ 21VA（240V）
定格出力	565mA ＊1、1275mA ＊2
充電時間	約 4 時間 40 分＊1、約 2 時間＊2
使用温度	0 ～ 35 ℃
大きさ	65.0 × 105.0 × 27.5mm
質量	約 95 g

＊1 NB-3AH 4 本の充電時
＊2 NB-3AH 2 本をバッテリーチャージャーの両端にセットしたときの充電時

コンパクトパワーアダプター CA-PS800

（別売の AC アダプターキット、ACK800 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz）
定格出力	DC3.15V、2.0A
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	42.6 × 104.0 × 31.4mm
質量	約 180g（電源コードを除く）

CANON iMAGE GATEWAY を利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

・バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス
・オンラインアルバムサービス
・携帯電話アルバム通知・閲覧サービス
・ホームプリンティングサービス
・プリント注文サービス（有料）
・オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）
・マイカメラコンテンツのダウンロード

http://www.imagegateway.net

・最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
・会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

＊インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
＊プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

数字 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

補修用性能部品について
保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

・DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
・DCF ロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
・Microsoft、Windows Vista、Windows Vista ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Macintosh、Mac ロゴ、QuickTime、QuickTime ロゴは、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
・SDHC ロゴは商標です。

各撮影モードで設定できる機能一覧

撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。
撮影モードによって設定が異なる機能のみ記載しています。

機能 ＼ 撮影モード		M	Av	Tv	P	□	AUTO	動画	
								動画1	動画2
露出補正(p. 112)		–	○	○	○	○	–	–	–
ISO 感度(p. 108)	オート	–	○	○	○	○	○	○	○
	高感度オート	–	–	–	○	–	○	–	–
	ISO80/100/200/400/800/1600	○	○	○	○	–	–	–	–
ホワイトバランス(p. 114)	オート	○	○	○	○	○	○	○	○
	太陽光/くもり/電球/蛍光灯/蛍光灯H/マニュアル	○	○	○	○	○	–	○	○
ドライブモード(p. 90、66)	1画像撮影	○	○	○	○	○	○	○	○
	連続撮影	○	○	○	○	–	–	–	–
	AF連続撮影[1]	○	○	○	○	–	–	–	–
	セルフタイマー(2秒/10秒)	○	○	○	○	○	○	○	○
	セルフタイマー(カスタム)	○	○	○	○	–	○	–	–
マイカラー(p. 117)		○	○	○	○	○	–	○	○
ストロボ調光補正(p. 120)		–	○	○	○	○	–	–	–
ストロボ発光量(p. 120)		○	○	○	–	–	–	–	–
測光方式(p. 113)	評価	○	○	○	○	○	○	○	○
	中央部重点平均	○	○	○	○	–	–	–	–
	スポット	○	○	○	○	–	–	–	–
記録画素数・圧縮率選択(静止画)(p. 68、69)		○	○	○	○	○[2]	○	–	–
記録画素数・フレームレート選択(動画)(p. 81)	640 × 480・30fps/30fps LP	–	–	–	–	–	–	○	–
	320 × 240・30fps	–	–	–	–	–	–	○	–
	160 × 120・15fps	–	–	–	–	–	–	–	○
Av/Tv 設定(p. 87、85)		○	○[3]	○[4]	–	–	–	–	–
プログラムシフト(p. 106)		–	○	○	○	–	–	–	–
AE/FE ロック(p. 105、107)		–	○	○	○	–	–	–	–
AEロック・露出シフト(p. 80)		–	–	–	–	–	–	○	○
撮影域(マクロ)(p. 65)		○	○	○	○	○	○	○	○
マニュアルフォーカス(p. 103)		○	○	○	○	–	–	○	○
ストロボ[5](p. 64)	オート	–	–	–	○	–	○	–	–
	常時発光	○	○	○	○	○	–	–	–
	発光禁止	○	○	○	○	○	○	–	–
液晶モニターの表示状態(p. 50)	情報表示なし	○	○	○	○	–	○	○	○
	情報表示あり	○	○	○	○	○	○	○	○
スティッチ方向選択 (左右)(p. 82)		–	–	–	–	○	–	–	–
AF フレーム(p. 97)	顔優先	○	○	○	○	–	○	–	–
	中央	○	○	○	○	○	○	○	○

				SCN							
											参照ページ
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 112
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 108
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 114
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 90、66
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 117
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 120
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 120
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 113
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 68、69
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 81
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 87、85
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 106
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 105、107
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 80
○	－	○	－	○	○	○	○	○	－	○	p. 65
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	p. 103
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	p. 64
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 50
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 82
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	p. 97
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

機能 ＼ 撮影モード		M	Av	Tv	P		AUTO		
AF フレームサイズ(p. 99)		○	○	○	○	–	–	–	–
デジタルズーム(p. 60)	入	○	○	○	○	–	○	○	–
	デジタルテレコン	○	○	○	○	–	○	–	–
ストロボ機能	スローシンクロ(p. 93)	○6)	○	○6)	○	○	–	–	–
	ストロボ自動調光(切)(p. 119)	○7)	○	○	–	–	–	–	–
	赤目緩和機能(p. 92)	○	○	○	○	○	○	–	–
セーフティFE(p. 121)		–	○	○	○	–	–	–	–
セーフティシフト(p. 88)		–	○	○	–	–	–	–	–
ISO ブースター(p. 109)	ボタン / 自動	–	○	–	○	–	○	–	–
	切	○	○	○	○	○	○	○	○
MF 拡大表示(p. 103)		○	○	○	○	–	–	–	–
セーフティMF(p. 104)		○	○	○	○	–	–	○	○
セルフタイマー(カスタム設定)(p. 67)		○	○	○	○	–	○	–	–
AF モード(p. 96)	CONT	○	○	○	○	○	○	–	–
	SINGLE	○	○	○	○	○	○	○	○
AF 補助光		○	○	○	○	○	○	○	○
撮影の確認(レックレビュー)(p. 16)		○	○	○	○	○	○	–	–
レビュー情報(p. 47)	通常	○	○	○	○	○	○	–	–
	詳細表示 / ピントの確認	○	○	○	○	–	○	–	–
撮影ガイド(p. 124)	グリッドライン	○	○	○	○	–	○	○	○
	3:2/両方	○	○	○	○	–	○	–	–
手ぶれ補正(p. 72)	入	○	○	○	○	○	○	○	○
	撮影時 / 流し撮り	○	○	○	○	○	○	–	–
日付け写し込み(p. 71)		○	○	○	○	–	○	–	–
ボタン機能(p. 122)		○	○	○	○	○	○	○	○

○ :選択可、またはカメラが自動的に設定。ただし、スティッチアシストでは原則として 1 枚目のみ選択可

– :選択不可

:電源を切っても解除されません。

1) 通常は AF 連続撮影（マニュアルフォーカス時と では LV 連続撮影）。
2) L 判プリント、ワイドは不可
3) Av（絞り数値）のみ設定可
4) Tv（シャッタースピード）のみ設定可。
5) ストロボを上げて発光設定にしたときのみ設定可。
6) 常時 [入]
7) [入] 設定はできません。
8) ストロボ常時発光時に選択可

				SCN							
											参照ページ
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 99
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 60
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
－	○[6]	○[6]	－	○[6]	－	－	－	－	－	－	p. 93
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 119
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	p. 92
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 121
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 88
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p. 109
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	p. 103
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	p. 104
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 67
○	○	○	－	○	○	○	○	○	－	○	p. 96
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○[8]	—
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 16
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 47
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 124
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 72
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 71
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 122

Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00
(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net

CDI-J326-XXX　XXXXXXX © 2007 CANON INC. PRINTED IN JAPAN